

# LIVE いきる LIFE くらす LAUGH わらう

白神の自然と海に生きる、  
みんながわらって暮らせる町、  
八峰町。



白神の自然と海に生きる、  
みんながわらって暮らせる町、  
八峰町。

LIVE いきる  
LIFE くらす  
LAUGH わらう

秋田県最北の海の町、

八峰町。

起伏豊かな岩礁から望む日本海。

緑濃い神秘の森、白神山地。

豊かな自然は美しいだけでなく、

その恵みによって

古くから町の産業を支えてきました。

美しく、ときに厳しい自然と共に生きる。

八峰町の人たちの暮らしは、

都会で暮らす人には想像もできないほど、

豊かな感動に満ち溢れています。



## CONTENTS

---

- |           |                        |           |                         |
|-----------|------------------------|-----------|-------------------------|
| <b>4</b>  | <b>八峰町×人 Interview</b> | <b>28</b> | <b>まち・ひと・しごと 創生総合戦略</b> |
| 6         | 白神山地と生きる               | 30        | 仕事づくりのための産業振興           |
| 8         | 八森の海と生きる               | 31        | 移住・定住対策                 |
| 10        | 日本酒と生きる                | 32        | 少子化対策                   |
| 12        | 特産品紹介                  | 34        | 人口減少社会への対応              |
| <b>16</b> | <b>町人スナップ</b>          | 35        | 安心してらせる体制               |
| <b>18</b> | <b>観光</b>              | 36        | 歴史                      |
| 24        | イベントスケジュール             | 38        | 統計                      |
| 26        | 行政と議会                  |           |                         |

LIVE  
八峰町で  
いきる

# 八峰町 × 人

Interview 01

辻 正英さん

Interview 02

山本 太志さん

Interview 03

山本 友文さん

子どもの頃から、

暮らしの中には、

海があつて、山があつた。

白神山地と日本海という、

豊かな自然に囲まれて暮らす、

八峰町の人々。

人々の暮らしから見えてくる、

本当の豊かさとは——。

LIVE  
八峰町で  
いきる

八峰町  
×  
人

# 白神山地と生きる

Interview 01

登山ガイド 辻 正英さん

登山ガイド 辻 正英さん

八峰町(旧八森町)出身。NPO 法人白神ネイチャー協会会長、八峰町白神ガイドの会会長、八峰白神ジオパーク推進協議会会長(H30年現在)。日本森林学会員、森林インストラクター、NACS-J自然観察指導員。

## 海へとつながる 白神山地

—— ツ森の山頂の近く、真瀬川へつながる沢が一直線になって、日本海まで見通せる場所があります。そこでは、河口付近で発生した雲が、裾野から沢に沿って真っすぐに山頂に向かってくるといふ、神秘的な光景が見られることがあります。これは、今まで何度もツ森に登ってきた白神ガイドの辻さんが、いちばん印象に残っているという光景。海と山との距離が近い、八峰町ならではの白神山地の絶景です。

八森の漁師の家に生まれた辻さん。子どもの頃から海にも山にも親しんで育ちました。父の船に乗り、「山立て」という山の地形を目印に船の位置を知る方法を教わり、大人になってからは、マタギの知恵を学びながら山を歩きました。この土地に住むすべての人にとって大きな存在である白神山地。その魅力を多くの人たちに伝え、歴史と環境を守る、白神ガイドとして活動しています。



## 守るのは登山客の安全と、この土地に伝わる歴史。

### 白神ガイドとは どんな仕事ですか？

ガイドにとって最も大切なことは、登山客が迷わず安全に散策を楽しめるようにすること。そのためには、道順を覚えるのはもちろん、危険箇所の把握、応急処置の準備などが欠かせません。それに加えて、白神山地ならではの木や植物、特徴的な景色、マタギの言い伝えや歴史的背景などの説明をします。

### 白神ガイドになった きっかけは？

元は八森町役場の職員で、青秋林道に関わる仕事をしていました。現地調査のために何度もニツ森に登るうち、白神山地について様々な知識を得ることができました。当時は遊歩道もなく、山頂まで歩いて3時間半もかかっていたんですよ。役場を退職後、ガイドに専念するようになりました。

### 八峰町から入る 白神山地の魅力とは

ニツ森登山口がちょうど青秋林道の終点なので、登山道

の入り口まで車で行くことができます。約5分で世界遺産の緩衝地域であるブナの原生林の中に入り、約40分でニツ森の山頂に到着するという、トレッキング初心者にもおすすめのコースです。ニツ森の山頂からは、世界遺産の核心地域が一望できます。ブロッコリーにも例えられる、緑の濃いモコモコとした様子が特徴的なブナの原生林を、見下ろすように眺めることができるのがニツ森コースの最大の魅力です。

### 白神ガイドになるには？

八峰町白神ガイドの会で、養成講座を設けています。講習会と、ニツ森、留山、十二湖などで行われる現地講習を受けていただいて、約1年で白神ガイドになることができます。ガイドになった後も、冬場には歴史の勉強会や救急救命講習などを行っています。現在、ガイドとして活動している方は高齢者が多いので、若い人にもっと参加して欲しいと思っています。白神ガイドには、漁師やマタギ、もともとこの地に住んでいた人たちが持つ知識を、若い世代に伝えていくという使命もありますからね。



LIVE  
八峰町で  
いきる

八峰町  
×  
人

# 八森の海と生きる

Interview 02

漁師 山本 太志さん



漁師 山本 太志さん

八峰町(旧八森町)出身。三代続く漁師の家の長男として生まれ、子どもの頃から海と船に親しんで育つ。教員を目指し地元の小学校に勤務していたが、28歳のとき漁師となる。有限会社但馬漁業 代表取締役。玄辰但馬丸 船長。

美しく厳しい海と共に

**荒** 々しい岩礁に縁どられ  
た海岸から、白神山地

へと続く緑豊かな段丘。美しい自然に囲まれた八森漁港から、山本太志さんは漁に出ます。船の上から見える二ツ森(白神山地)の姿は、漁師だけが見ることを許された絶景。その地形は美しいだけでなく、古くは漁場を知る手がかりになっていたそうです。白神山地から注ぐミネラル豊富な水に育まれた漁場では、ハタハタ、アンコウ、タラ、クロマグロ、アワビ、岩ガキなど、季節に応じて多種多様な魚介類が水揚げされます。

山本さんが三代目船長を務める玄辰但馬丸は、八森で最も大きな底引き網漁船。巨大な網を海底まで下ろし、魚が入って4トンから5トンもの重さになった状態の網をロープで引き揚げます。逃げ場のない船の上での作業は、常に危険と隣り合わせ。自分で自分の命を守るようになるまでに3年、漁師として独り立ちするには10年かかると言われています。そんな海の過酷さと厳しさを知ってなお、「漁師はみんな、海が好き」と山本さんは笑います。





## 漁師が子どもたち憧れの職業となるように。

### 漁師になろうと 思ったきっかけは？

祖父の代から続く漁師の家に生まれ、子どもの頃から船があつて当たり前な生活をしていましたが、漁師になろうと思つたことはありませんでした。教員になりたいと、大学の教育学部を卒業し、地元の小学校に6年間勤めていました。

ある日、突然父に呼び出され、料亭の立派な個室で「漁師になつてほしい」と頼まれました。父の真剣な様子と、祖父の代から続く船を守らなくてはという長男の責任感から、漁師になる決断をしました。

### 漁師という職業の 魅力は？

ここだと思つた場所に網を入れて、ハタハタやタラが大漁に揚がつたときは興奮します。網いっぱい揚がったハタハタを巨大なタモで何度も何度も汲んで、船一面がハタハタで覆われてしまいます。その光景は圧巻の一言。

ハタハタやタラは冬の荒れた海で漁することが多いのですが、海が荒れているときの大漁は、船が重くなって危険なん

です。その危険を切り抜けて、無事に港に戻ったときの達成感は一とおです。

### これからの漁業について

八森の漁師にとつて、冬のハタハタは大きな収入をもたらしてくれます。しかし、それだけを頼りに1年を過ごすのではなく、養殖や商品開発、情報発信や販路拡大などの努力によって、年間を通して収入を得る仕組みづくりをしなくてはならないと思います。

漁業体験を通して県外の方たちに漁業の魅力を伝えたり、消費者の方たちに八峰町産の海産物のおいしさを知ってもらうためのイベントを東京・赤坂で開催したり、旬の海産物のインターネット販売や、養殖アワビの加工品と活魚の販売にも力を入れています。

将来の目標は、子どもがやりたい職業のベスト3に漁師が入ること。しっかり稼げて、かっこよければ子どもたちは誰もが漁師になりたい、と思うはず。漁師ってかっこいい、漁師になりたい、そう思ってもらえるよう、八峰町の漁業を発展させていきたいと思っています。



LIVE  
八峰町で  
いきる

八峰町  
×人

# 日本酒と生きる

Interview 03

蔵元 山本 友文さん

山本合名会社 6代目蔵元 山本 友文さん

八峰町（旧八森町）出身。地元の高校を卒業後、ミンガン州で機械工学を学ぶ。帰国後、音楽プロダクションに入社、マネージメント業務を行う。平成14年、山本合名会社の後継者として帰郷。杜氏に頼らない酒造りを始める。平成22年、県内の他の蔵元と蔵元技術集団「NEXT5」を結成。

**常識を壊し、伝統を守る。**

**世**

界遺産・白神山地の天然水を引いた自家水道を持つという、贅沢極まりない環境で酒造りを営む山本合名会社。明治34年創業の趣ある蔵にはビートルズが流れ、最新の設備が並びます。酒米はすべて自社精米。精米機で納得のいくまで磨きます。麹造りは徹底した無菌室で。ときには発酵タンクも山本さん自ら設計します。常識を疑い、新しいことに挑戦し続けてきた秋田酒造界の革命児、山本さんらしい蔵の様子です。

杜氏制を廃止し、蔵元自らが製造責任者となって酒造りをするという、従来の常識では考えられない決断をした山本さん。その道は決して平坦ではありませんでした。醸造試験場に足繁く通い、試行錯誤を繰り返して、必死で酒造りの方法を模索する日々。酒造りを始めた最初の3年は記憶がないそうです。そんな苦労のかわりに、山本さんが生み出した新ブランド「山本」は、秋田を代表する銘柄へと成長しました。その確かな品質は、日本国内はもちろん、海外でも高く評価されています。



## 喜んでくれる人のために、 自分の手で酒を造る。

### どのようにして 「酒造りをする蔵元」に？

平成14年、私が32歳で後継者として地元に戻ったとき、会社は窮地に陥っていました。日本酒の消費量の減少、度重なる身内の不幸、商品の質の低下。並大抵の改革では立て直すことのできない状況に、どうせ倒産するなら、最後に自分で作ってみよう、と思って酒造りを始めました。

### 酒造りという仕事の 魅力は？

私は新しい酒を造るとき、ま

ずは飲む人のことを想像します。こんなお客さんがいて、こんな酒があったら喜ぶんじゃないかな、と想像してから、じゃあどの酵母とどの米を使おう、というように逆算して酒造りをします。新しい商品のアイデアはだいたいの車を運転しているときに思いつくんですが、頭に思い描いていた商品が出来あがって、形になったときはうれしいですね。

酒造りは天職だと思えます。とにかく楽しい。仕事は楽しくない。蔵でビートルズを流しているのも、社員が楽しく仕事をするためなんですよ。

### 海外での反応は？

中国、韓国、タイ、オーストラリアなどで取引をしています。が、日本酒を初めて飲む方たちの反応というのは、とても新鮮で面白いです。経費や関税がかかるので、現地の飲食店で提供されるときにはかなり高額になります。喜んでいただけいています。秋田の米と白神山地の水を、日本酒という形にすることで海外に発信することができます。地元にも貢献でき、誇りの持てる仕事だと思います。

### 今後の展開は？

4年後くらいに、現在、精米場として利用している建物をリノベーションして、テイステイングや商品の購入ができる施設を作りたいと考えています。冷蔵室の中にミニチュアの製造ラインを作って、製造工程を見学できるようにしたりもしたいですね。国道101号線から出入りできるようにして、観光客の方も立ち寄りやすい、八峰町の新しい観光名所にしたいです。

日本酒の消費量が増えることとはないかもしれませんが、日本酒のファン、山本のファンが増えるように、心をつかむ商品を作り続けていきたいです。

LIVE  
八峰町で  
いぎる



特産品

かがやき

# 輝サーモン ～白神育ち～



かがやき  
輝サーモン  
白神育ち

令

和3年12月より  
スタートした秋

田県内初の大規模養  
殖サーモン。

世界自然遺産白神山  
地から流れ込むミネラ  
ル豊富な水の漁場で養  
殖され、脂が乗り旨味  
たっぷりのトラウトサー  
モンです。

水揚げされた輝サー  
モンはイオン東北や伊  
徳などの県内スーパーへ  
出荷しています。また、  
町内の「地物食堂どは  
ち」で海鮮丼を食べるこ  
とができますので、是非  
ご賞味ください。

八水株式会社

【住所】〒018-2621

秋田県山本郡八峰町八森字茶の沢141-13



## 峰浜梨

### 峰

浜沢目地区の砂丘地は水はけもよく、おいしい梨の栽培に適した土地で、明治時代から梨の栽培が行われて来ました。

国道101号沿いには果樹直売店が並び、果樹園で収穫されたみずみずしい峰浜梨が販売されています。和梨・洋梨・ぶどうの直売のほか、もぎとり体験等ができる店舗もあります。幸水、豊水、長十郎、あきづきのほか、かおり豊かな高級品種「かほり」も人気です。

## 生薬栽培

### 八峰町で育った安全な生薬

### 平

成24年6月から公益社団法人東京生薬協会と生薬栽培の促進に関する連携協定を締結し、平成25年度には町による試験栽培を開始しました。現在では東京生薬協会に加え、国立研究開発法人医療基盤・健康・栄養研究所との3者による連携協定を締結して、試験栽培をしています。

八峰町が栽培する生薬は27品目あり、そのうちカミツレ、キキョウの2品目について販売先を確保し契約農家で栽培されています。カミツレは、栽培技術を確立させ、生産組合に生産管理を委ねていますが、キキョウはまだ試験段階にあり、今後は単収を向上させる研究を進め、安定した収量確保が実現した後に、面積を拡大することを計画しています。

また、生薬の調整乾燥作業を通年で運営できる体制を整備するために、将来的にはさらに3〜4品目の生薬栽培普及を進めたいと考えています。

さらに、漢方流通の規格から外れた生薬を健康食品等として活用する検討も進め、自然豊かな白神山地の麓で育てられた生薬によって、そこで生活する人々が健康で過ごせる長寿の郷づくりを目指して、生薬栽培の普及を図ります。



## 石川そば

### 峰

浜地区の石川集落では江戸時代からそばの栽培が行われて来ました。農地開拓事業により栽培面積も増え一大産地となっています。

農家が自家で食べるために製麺し、調理していた「石川そば」は次第に出荷されるようになり、現在では地元産直や県内のスーパーに出荷され、名物「石川そば」として認知されています。つなぎに豆乳を使用するのが特徴で、ほんのりとした甘みがあります。



LIVE  
八峰町で  
いきる

## ギバサ

ホンダワラ科の一種。粘りが強く、ミネラルやビタミンが豊富です。



**豊** かな自然に恵まれた八峰町では、海の幸をはじめとして、さまざまな特産品がつくられています。どれも、ここに来てはじめて手に入れられるものばかりだから、旅の思い出や、お土産として、ぜひひとついかがでしょうか。

どこか懐かしいような  
ほっこりとした、  
心を満たす逸品を  
集めてみました。

## 白神こだま酵母パン

ボスケット

【TEL】0185-77-2889

【住所】八峰町八森字湯の尻23-8

白神山地から生まれた「白神こだま酵母」を使用し、無添加にこだわった白神パン。



## はっぼうサイダー

白神山麓水を使用したサイダー。甘さを控えたすっきりとした味わいが特徴。

道のレストランはっぼう(産直おらほの館内)

【TEL】0185-76-4455

【住所】八峰町峰浜沼田字ホンコ谷地147-6



## 八峰白神の塩

八峰白神の塩は、八峰町沖の海水だけを使った手作りの海塩です。食材の旨みを引き出します。

八峰白神自然食品株式会社

【TEL】0185-70-4755

【住所】八峰町八森字滝の間324-5



## おからドーナツ

グリーン豆腐で有名なお豆腐屋さんが作る人気のスイーツです。秋田県産大豆のおからと豆乳が主役のどこなつかしい味です。

松岡食品

【TEL】0185-77-2024

【住所】八峰町八森字古屋敷43-3



飾り扇子



### 産直ぶりこ

JR五能線あきた白神駅の向かい側、温泉保養施設ハタハタ館に隣接する産直施設です。日本海の八森沖で水揚げされた新鮮な魚介類を始め、ハタハタずしなどの水産加工品や白神の山の幸も数多く揃えています。また、店内には、名物のハタハタ焼きまんじゅうや本館そば、しょつつるパスタやさるなしソフトが食べられる食堂「ごみ」もあります。  
 【TEL】0185-70-4020  
 【住所】八峰町八森字御所の台51  
 (いさりび温泉ハタハタ館隣り)



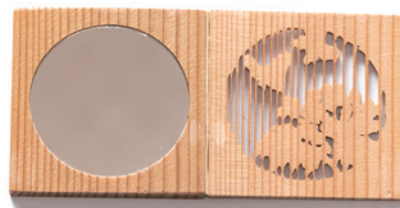
### 産直おらほの館

国道101号沿いの道の駅みねはまに隣接しています。新鮮な野菜や山菜、漬物、お菓子、ドライフラワー、手作り味噌、ハーブグッズなどを取り揃えています。また、つなぎに豆乳を使う独特の製法が人気の「石川そば」が味わえる食堂やソフトクリームコーナーも人気です。  
 【TEL】0185-76-4649  
 【住所】八峰町峰浜沼田字ホンコ谷地147-6



### 道の駅「はちもり」お殿水

世界自然遺産の白神山地を水源とする「お殿水」で喉を潤すことができます。  
 【営業時間】9:00~18:00(冬期は~17:00)  
 休業日 年末年始、  
 12/31、1/1、1/2  
 【TEL】0185-78-2300  
 【住所】八峰町八森字乙の水72-4



透かし彫りかみ

## 創作木工品

木肌のぬくもり社では、天然秋田杉のすかし彫りの技法を用いて、飾り扇子をはじめ、すかし鏡、コースター、筆立てなど、さまざまな創作木工品を作っています。図柄は、オーダーメイドの製作にも対応してくれますので、大切な方への贈り物や記念品として世界に一つだけのオリジナルをプレゼントしてみたいはいかがでしょうか。

### 木肌のぬくもり社

【TEL】0185-77-2236  
 【住所】八峰町八森字中浜136

## 清酒白瀑

明治34年に創業。仕込み水には白神山系を源にする天然水を使い、蔵元自らが栽培する厳選された酒米でこだわりの酒造りを行っています。

### 山本合名会社

【TEL】0185-77-2311  
 【住所】八峰町八森字八森269



## はたはたずし

八森名物のハタハタを、炊いた秋田米と塩、刻んだ野菜などと一緒につけ込み、ゆっくりと発酵させた秋田で古くから愛される「なれ寿司」です。

### 株式会社鈴木水産

【TEL】0185-77-2217  
 【住所】八峰町八森字磯村72-3

## しょつつる

地元で採れたハタハタをまるごと塩漬けて、発酵・熟成させた調味料です。濃厚でコクのある旨みの特徴で、銅物や煮物料理をおいしく引き立てます。ご賞味ください。左記3施設にてお買い求めいただけます。

### ひより会

【TEL】0185-77-2835  
 【住所】八峰町八森字岩館25-1地先



# みんながわらって暮らせる町

LAUGH  
わらう

10



水がおいしいので海の幸、山の幸、梨や農産物おいしいです。町の子ども達は素直な子ばかりで、この町は子どもがのびのび育つ環境です。小さい子からお年寄りまでみんな仲良しです。

嶋田 俊弘さん

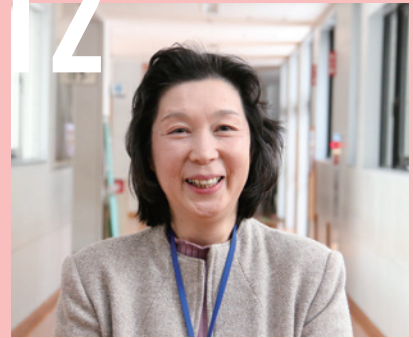
11



鹿の浦から見る夕日はとてもきれいです。地域の人が挨拶を良くしてくれるし、町ではICTなど私たち子どもに手厚い支援をしてくれます。

西巻 嵩和さん

12



穏やかな稜線の山、海、川。家のすぐ裏で山菜を採ることだってできます。四季の移り変わりは美しく会話の中で四季を目安に会話ができます。八峰町は「たいしたいとこ」です。

田村 崇子さん

13



旬の魚、野菜、山菜のとれたてが食べられます。町の外には美味しいものがたくさんありますが、地元の知り合いが作ったり獲ったりしたものが世界で1番おいしいです。

鈴木 了さん

14



世界遺産である白神山地があり自然豊かな町です。私が住む石川地区には石川そばや駒踊り・奴踊りなどの伝統が残っていて、地域の人の心も温かいです。

福田 心和さん

15



八峰町のよさは何と言っても海、山。世界自然遺産白神山地、ニツ森、真瀬川の溪流、冬にはハタハタが獲れる海。ジオパークにも認定されるこの町は、自然がもたらす多くの恵みに困まれた町です。

山本 百合子さん

16



月の眩しさでカーテンを閉めるほど星空がきれいです。四季折々の旬の食べ物おいしく、人と人のつながりが感じられ、自分でも気づかぬうちに心が洗われ癒される町です。

嶋津 梨紗さん

17



山があり、海があるという私達にとっては当たり前の日常がとても貴重なものなのだと思います。山や海の恵みをたくさん受けて、その中で育つ町の子ども達は素直で、キラキラと明るい子達ばかりです。

工藤 由美さん

18



八峰町は海と山に囲まれているため、海の幸、山の幸が豊富にとれます。はちもり観光市では新鮮な魚や貝など並び、その場で焼いて食べることもできますよ。

山口 敬市さん



# 18の八峰町の良いところ

01



八峰町のいいところは、地域の人たちが協力して生活してみんな笑顔が多いところ。小さいころから見たり参加したりしている白瀑のみこしの滝浴びが好きです。

山本 レオさん

02



八峰町は、ハタハタや梨、しいたけ、白神あわび、最近では、薬膳料理などたくさんの美味しいものであふれています。そしてなんといっても美味しいきれいな水と空気。来てみれば分かります！

水木 和子さん

03



花火大会や音楽祭などのイベントや、各種体協による全町大会が行われ、人口は少ないけれど、ほかの地域では失われつつある「活気」があふれています。

後藤 慎作さん

04



民謡サークル活動やユニカール、ゲートボール、地域でのサロン活動など、年齢を重ねても健康に、元気に、笑顔いっぱい過ごせる町、それが八峰町です。

武田 ヒデさん

05



いいところはたくさんありますが、スポーツの活気もあふれる八峰町！私は、町民野球、バレーボール大会楽しんでいます！

小林 建斗さん

06



海も山もあり、自然豊かな町。町外から帰ってくると感じるのが、八峰町の水は本当においしいということ。また、雄島の花火は海から上がり、間近で見ることができ圧倒されます。

古田 千里さん

07



何気ない食べ物が最高に贅沢な八峰町。お水やお米、海の幸、山の幸…当たり前前に食べていて気づかないけれど、その一つ一つが実はとっても贅沢で最高です。

大森 聖子さん

08



海と山に囲まれた自然豊かな町で、町民は人情が厚く笑顔の絶えない町。私をはじめ消防団員は町民の安心安全を守るため、今後とも頑張っていきます。ぜひ、八峰町にお出で下さい。

本多 健さん

09



御所の台ふれあいパークが大好きです。春にはたくさんの桜が咲いて、海の景色もきれいで向かいのハタハタ館には温泉があります。ポンポコ山公園もたくさん遊べて楽しいです。

後藤 菜子さん

LIFE  
八峰町で  
くらす

# Attraction of Happou 0 | 五能線

## 魅力探訪 Attraction of Happou

一度は乗ってみたいローカル線として全国的に人気を集めている「五能線」。海岸に沿って走る列車に乗れば四季折々の八峰町の見どころがたくさん見つかります。

五能線は秋田県の東能代駅から青森県の川部駅を結ぶ全長147.2キロメートル、43駅の鉄道です。なかでも、リゾートしらかみは、1997年の秋田新幹線こまちの開業とともに運行を開始し、日本海と白神山地を楽しめる観光列車として有名になりました。車内での演出のほか、停車する各駅で様々な観光体験メニューが用意されています。

八峰町の「あきた白神駅」では観光駅長が、お客様をお迎えします。駅を降りると目の前には八森いさりび温泉ハタハタ館があり、海を一望できる露天風呂や、白神あわびの料理が提供されます。また、隣接するあきた白神体験センターでは、さまざまな製作体験やシーカヤック、トレッキングなどが楽しめます。

「あきた白神駅」を出ると次の「岩館駅」までは海の絶景が続きます。リゾートしらかみの大きな窓からぜひ眺めてみてはいかがでしょうか

海岸に沿って走る五能線。

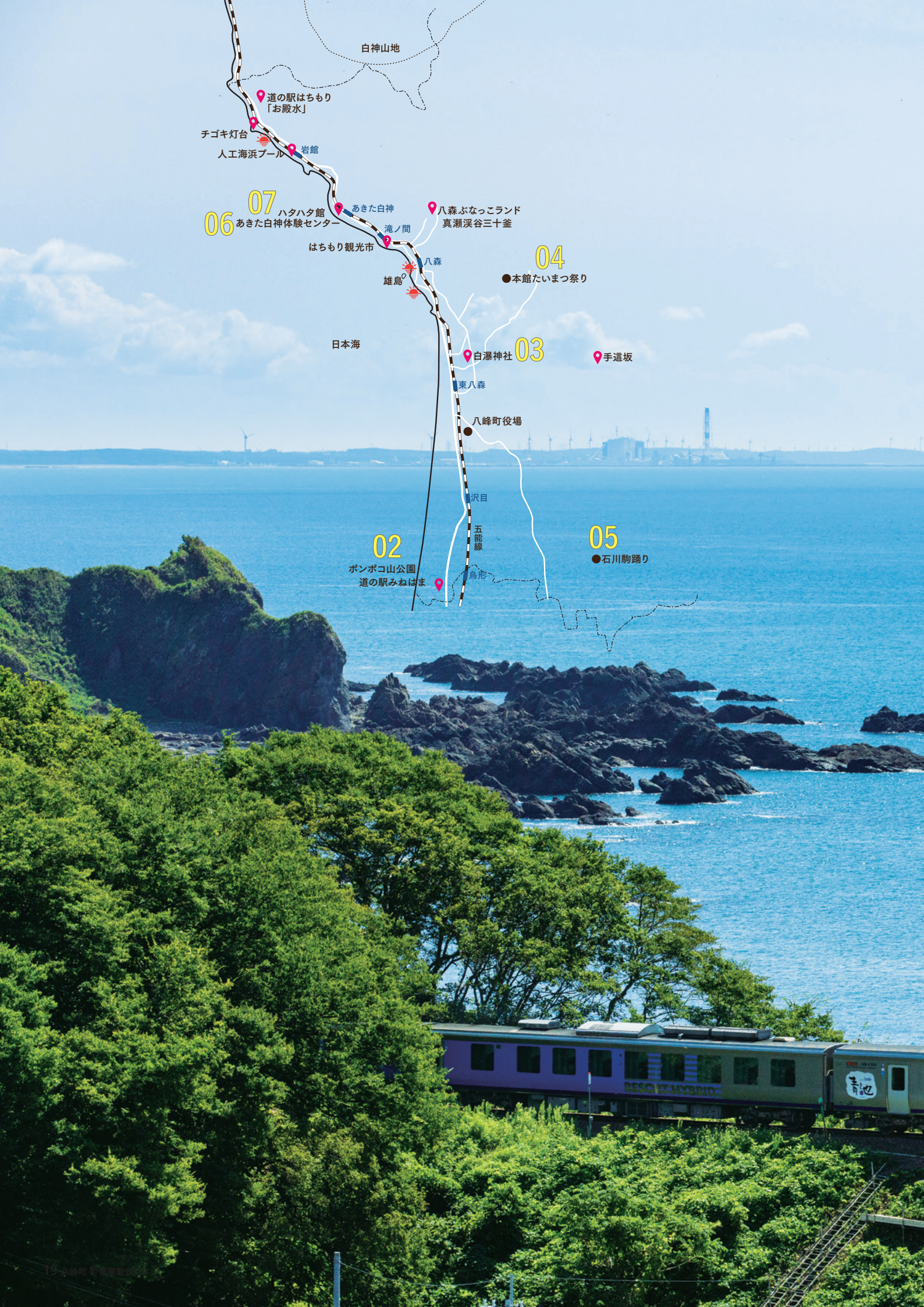
国道を北上すると、

四季折々に八峰町の

みどころが

たくさん見つけられます。





白神山地

道の駅はちもり  
「お殿水」

テゴキ灯台

人工海浜プール

岩館

06  
07

ハタハタ館  
あきた白神体験センター

あきた白神

八森ぶなっこランド  
真瀬渓谷三十釜

はちもり観光市

滝ノ間

八森

04

●本館たいまつ祭り

雄島の

日本海

03

白瀬神社

手這坂

東八森

八峰町役場

沢目

05

●石川駒踊り

02

ボンボコ山公園  
道の駅みねはま

鳥形

五能線

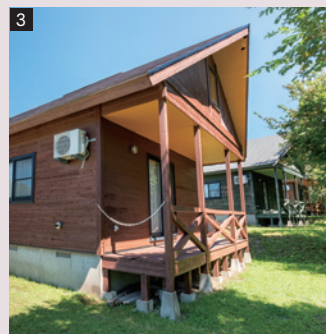


## Attraction of Happou 02 ポンポコ山公園

〒 018-2509 秋田県山本郡八峰町峰浜沼田字ホンコ谷地 57-2  
TEL 0185-76-3322 FAX 0185-76-3248

- 1 ラベンダー畑／約五千株のラベンダーが植栽されており、6月から7月にかけて紫色の花と心地よい香りと共に心も体もリラックスできる空間となっています。
- 2 パークセンター／ポンポコ山公園の管理棟です。中には室内遊具や、乳幼児のオムツ替え・授乳ができる部屋があります。
- 3 ポンポコ山公園バンガロー村／ポンポコ山公園内に、木をふんだんに使用した4棟のバンガローがあります。キッチン、シャワー、冷蔵庫など装備。家族や仲間であそぶのスポットです。
- 4 グラウンドゴルフ場／子どもから大人まで誰でも気軽に楽しめるグラウンドゴルフを遊ぶことができます。

ポンポコ山公園は、訪れる人みんなの憩いの場所です。国道101号沿いの道の駅みねはまと産直施設おらほの館に隣接し芝生広場、グラウンドゴルフ場、遊具広場、ピクニック広場、ラベンダー畑、遊歩道、カントリーガーデン、展望台、2種類のバッテリーカーコースなどがあります。1棟5人まで宿泊できるバンガローが4棟ありますので、ご家族連れでぜひお越しください。(バンガロー要予約)公園管理棟パークセンターは、授乳室やおむつ替えの設備が備えられていて子どもの駅にも指定されています。様々なイベントの会場としても利用され、ハーブ園もあります。



### 休日どこに行くか迷ったら！



### こどもたちの笑顔がはじける場所

- ◎晴れた日には、遊具のある広場で子ども達と思いっきり遊べます。いろんな遊具やバッテリーカーもあり、飽きることなく楽しめます。
- ◎雨の日や子どもが小さいうちは、パークセンター内で遊ぶのがおすすめです。靴を脱いで遊べるスペースもあり、安心して子供を遊ばせることができます。



## Attraction of Happou 03 白瀑神社みこしの滝浴び

八峰町八森字館 10 (白瀑神社) 日時: 8月1日  
TEL 0185-76-4100 (八峰町観光協会)



毎年8月1日の白瀑神社例大祭に行われる。五穀豊穣、海上安全、商売繁盛などを祈願して、白装束の男衆が町内を練り歩いたあと、みこしを担いだまま滝つぼに入る勇壮な神事。みこしが滝つぼに入るのは全国でも珍しいといわれています。



## Attraction of Happou 05 石川駒踊り

八峰町峰浜 (石川地区)  
日時: 8月13日  
TEL 0185-76-4100 (八峰町観光協会)

毎年8月13日に行われる峰浜石川地区の伝統行事で、五穀豊穣、家内安全、祖先供養、馬霊供養として踊りが神社に奉納されます。駒踊り、駒踊り、囃方で構成され、笛、太鼓の囃子にあわせて、奴踊り、駒踊りの順で演じられます。駒踊りは、8頭の駒が足腰も軽やかに跳びかう勇壮な踊りです。



## Attraction of Happou 04 本館たいまつ祭り

八峰町八森字本館地内 (本館城跡)  
日時: 9月第2日曜日 (通常)  
TEL 0185-76-4605 (八峰町産業振興課)

慶長10年(1605年)、苛酷な検地によって苦しめられた百姓たちによって「本館一揆」と呼ばれる農民一揆で本館城が落城。この事件により、多くの領民が犠牲になり、一揆に加わった者たちは刑を受けました。翌年から飢饉や疫病などが続き、受刑者たちのたたりではないかと恐れられた領民は、たいまつを掲げて霊を供養するのが始まりで、現在まで継承されています。



# Attraction of Happou 06 あきた白神体験センター

〒 018-2617 秋田県山本郡八峰町八森字御所の台 53-1  
 TEL 0185-77-4455 FAX 0185-77-4456 E-mail: shirakami-tc@town.happou.akita.jp



- 1 シーカヤック／2人乗り、3人乗りのカヤックで、周囲が防波堤に囲まれている岩館の海浜プール及び中浜の雄島付近で活動します。
- 2 本館そば打ち体験・石川そば打ち体験／本館そばは30名まで、石川そばは20名まで体験可能です。
- 3 白神山地ニツ森登山／体験センターから車で1時間、登山1時間で標高1,086mの山頂に着きます。世界自然遺産地域が一望でき、その素晴らしさを感じ取ることができます。

あきた白神体験センターは、秋田県の北西部に位置し、世界自然遺産白神山地を東に仰ぎ、西には日本海の大パノラマが広がっている自然環境の中、四季を通じて、さまざまな体験活動をお手伝いする宿泊施設です。

主な体験活動として、白神山地ニツ森登山や留山(ブナの天然林)散策、御所の台里山トレッキング、日本海でのシーカヤック、磯釣り、そば打ち、豆腐作り、白神こだま酵母を使ったピザ・パン作りなどがあります。工作体験活動では、貝殻ストラップや想い出ビンビン、パー

ドコール、木の葉のしおり、オリジナル缶バッジ、ジェルキャンドルなどの「想い出」をつくる事が出来ます。各種体験は日帰りでも可能です。

様々な体験活動をとおして、心と体の成長を図り、仲間と協力し合い、絆を深め、公共のマナーを守るなど青少年教育施設としての機能を担っています。町民の健康づくりや親睦の場、研修の場としての施設の役割もあります。

自然体験を満喫した後は、隣にある「八森いさりび温泉ハタタ館」の温泉で一日の疲れをいやすことができます。

## 様々なイベントを用意しています！



### 白神山地の恵みを感じられる場所

- ◎学校や団体等での宿泊体験やスポーツ体験等のほか、季節に応じたスポーツ教室やヨガ教室の開催、自然体験など日帰りでも楽しめるイベントを各種用意しています。
- ◎白神山地を感じ、日本海を感じ、八峰町を満喫するにはもってこいの施設です。



### ぶなっこランド

白神山地の西玄関口にあり、自然観察会、体験学習ができるほか、白神山地のインフォメーションの拠点機能をもっています。

【休業日】毎週水曜日(祝祭日の場合は翌日)

【営業時間】9:00~17:00

【TEL】0185-77-3086

【住所】秋田県山本郡八峰町八森字三十釜144-1



### 真瀬渓谷三十釜

白神山地周辺の渓流散策におすすめのスポット。散策路が整備されており、新緑や紅葉の時期は岩の間を縫うような流れが、美しい景観をみせてくれます。



### 岩館海岸海浜プール

砂浜を人工的に造成し、海を防波堤で仕切った海水プール。波が高くても安心して遊べます。家族連れで泳げるのが人気。

【営業期間】7月中旬~8月中旬

【TEL】0185-76-4100(八峰町観光協会)

【住所】秋田県山本郡八峰町八森字和田表221



### チゴキ灯台

青森県境に近いチゴキ崎の無人灯台。中には入れませんが、自由に見学できます。見晴しが良く、イカ釣りの漁火や夕陽を眺めるのに最適です。秋田県最北端の灯台。

※無料駐車場有。



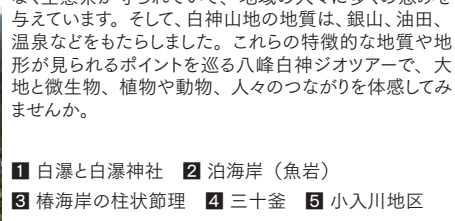
## Attraction of Happou 07 八森いさりび温泉 ハタハタ館

〒018-2500 秋田県山本郡八峰町八森御所の台51

TEL 0185-77-2770 FAX 0185-77-2722

八森いさりび温泉ハタハタ館は、町の第三セクターであるハタハタの里観光事業株式会社が管理運営しています。全客室から日本海を臨むことができ、天然温泉は、露天風呂、寝湯、泡風呂、サウナ、岩盤浴までそろっています。特に、岩風呂と船風呂の2種類の露天風呂が人気です。全80席のレストランや土産品コーナー、大・中・小広間を完備しています。キャンプ場が隣接しており、バーベキューを楽しむことができ、トレッラーハウスに宿泊することもできます。

### 八峰白神ジオパーク



白神山地一帯は、ほとんどが人間の手がかえらるることなく生態系が守られていて、地域の人々に多くの恵みを与えています。そして、白神山地の地質は、銀山、油田、温泉などをもたらしました。これらの特徴的な地質や地形が見られるポイントを巡る八峰白神ジオツアーで、大地と微生物、植物や動物、人々のつながりを体感してみませんか。

1 白瀑と白瀑神社 2 泊海岸(魚岩)

3 椿海岸の柱状節理 4 三十釜 5 小入川地区



八峰町のイベントや  
名産の旬をお知らせ。

8月 Event

### 雄島花火大会

海に浮かぶ雄島から花火が打ち上げられ、光りと音の饗宴が行く夏の一夜を盛り上げます。毎年8月15日に八峰町八森の中浜海岸で開催されます。

八峰町産業振興課 TEL.0185-76-4605





毎週土日  
開催

## はちもり観光市

毎週土日に開催。水揚げされたばかりの新鮮な魚介類や、地元名物のハタハタ寿司など水産加工品や山菜が豊富に並ぶ。地元の人とふれあいながらの買い物楽しい。

八峰町の旬を  
まるっとお届け!



【営業日】土・日  
【営業時間】9：00～17：00  
【TEL】はちもり観光市 0185-77-3774  
八峰町観光協会 0185-76-4100  
【住所】秋田県山本郡八峰町八森字横間156

10月 Festival



## はっほう“んめもの”まつり

海と山に囲まれた自然豊かな八峰町の秋の恵みが一堂に会する祭りです。イカ焼きや白神あわび、新米を使っただまこもち、みそたんぼなどの屋台が出そろいます。(10月上旬開催)

八峰町観光協会 TEL.0185-76-4100

4月 さくらまつり

8月 みこしの滝浴び

8月 石川駒踊り

9月 本館たいまつ祭り

1月 ポンポコ山公園冬まつり



さくらまつり

### 八峰町旬のメモ

●魚介 ●開花 ●野菜・果物

- |             |         |
|-------------|---------|
| 1月～3月       | ●ヤリイカ   |
| 2月～10月      | ●ウスメバル  |
| 3月～8月       | ●カミツレ   |
| 4月～5月       | ●山菜     |
| 4月～11月      | ●真鯛     |
| 4月下旬～5月上旬   | ●桜      |
| 5月～6月       | ●ギバサ    |
| 6月中旬～7月下旬   | ●ラベンダー  |
| 7月～9月       | ●鮎釣り解禁  |
| 7月～8月       | ●鮑      |
|             | ●岩牡蠣    |
| 8月～9月上旬     | ●峰浜梨    |
| 9月～10月      | ●ノドグロ   |
|             | ●ボタンエビ  |
|             | ●スケソウダラ |
| 10月下旬～11月   | ●石川そば   |
| 11月～1月      | ●ホッケ    |
|             | ●マダラ    |
|             | ●ヒラメ    |
| 11月下旬～12月下旬 | ●ハタハタ   |

笑顔で一生をくらす。  
 元気あふれる八峰町を  
 未来へつなぎます。



八峰町は、日本海沿いの秋田県最北端に位置し、北は青森県深浦町、東は世界自然遺産「白神山地」、南は秋田県能代市と接する町であり、平成18年3月に八森町と峰浜村の合併により誕生しました。

この八峰町は今、人口減少や少子高齢化がこれまでにならぬ速度で進み、日々の生活に様々な影響を及ぼしており、皆様の暮らしに関する不便や不安をいかに解消していくのか、安全・安心の確保が大きな課題となっております。

一方で、本町の多様で豊富な資源を最大限に活用しながら、町の発展と成長への確かな道筋を付けていくことは今を生きる私たちの大きな使命であると捉え、「ふるさと八峰の創生」に果敢にチャレンジしていくことが重要と考えております。

このため、町の基幹産業である農林漁業について、シイタケや生薬栽培の生産拡大に取り組むとともに、漁港を活用したサーモンの養殖事業等の推進に努めてまいります。

また、女性の様々な意見を町政に反映させ、地域や職場で女性が個性と能力を存分に発揮し、活躍できる環境づく

りを進めるほか、県や地元商工会等と連携を図りながら、洋上風力発電が地域の活性化や人材の定着につながるよう取り組みを進めてまいります。

さらに、観光振興や高齢者等が住み慣れた地域で生き生きと暮らし続けることができ社会的実現、活力ある地域コミュニティづくりの支援等を行うとともに、第2次八峰町総合振興計画や第2期八峰町まち・ひと・しごと創生総合戦略の着実な進展を図ってまいります。

いづれにいたしましても、今後も町民の皆様が安心して暮らせるふるさとを造り上げるため、町の課題に正面から向き合い役場職員一丸となって、力の限り頑張っていく所存であります。

八峰町長

堀内満也



## 町章

「八峰町」の「八」を基本のモチーフにし、白神山地の自然と山並み（グリーン）、日本海の波濤（ブルー）、そして明るく活力ある未来（オレンジ）をイメージしたデザイン。培われた歴史や文化と共存・共栄し、「白神の自然と人とで創るやすらぎの町」を目指して大きく飛躍していく姿を表現しています。

## 町のシンボル



町の木／ブナ



町の花／カタクリ



町の鳥／カモメ



町の魚／ハタハタ

# 八峰町民憲章

私たちは、日本海と白神山地に囲まれ、  
恵まれた自然の中で先人が築き上げた郷土を愛し、  
町の繁栄と町民の幸せのため、ここに町民憲章を定めます。

豊かな自然を大切にし、住みよいまちをつくりましょう  
心とからだをきたえ、明るいまちをつくりましょう  
働くよろこびを味わい、活力あるまちをつくりましょう  
歴史と文化を重んじ、潤いのあるまちをつくりましょう  
お互いに助け合い、温かいまちをつくりましょう

平成二十三年三月二十七日制定

## 町民歌

### やすらぎのふるさと

作 詞 能登濱吉  
作曲・編曲 小林 亜星

一、緑さやかな 山並みの

白神山地 ブナの森

仰ぐ瞳も 晴れやかに

心安らぐ ふるさとは

希望あふれる 八峰町

二、夕日に染まる 日本海

寄せるハタハタ 海鳴りが

奏でる磯に 海の幸

活気がみなぎる ふるさとは

夢も輝く 八峰町

三、森が育む 清流が

暮らしの四季を いろどって

祈る幸せ 夏祭り

自然と歴史の ふるさとは

永久に栄える 八峰町

永久に栄える 八峰町

## 八峰町議会



LIFE  
八峰町で  
くらす

## 行政

### まち・ひと・しごと 創生総合戦略

地域の特性を最大限に生かし

みんなが元気になるまちづくり、

誰もが笑顔で住み続ける

まちを目指して



本町では、若年層を中心とした人口の流出を背景に、集落の小規模化や高齢化が急速に進み、基幹産業である農林水産業の衰退や地域の担い手不足、空き家や耕作放棄地の増加など地域コミュニティを維持していくうえで深刻かつ厳しい状況に直面しています。

日本全体が人口減少社会を迎える中で、本町においても、今後一定の人口減少が避けられない状況にあり、社会減の過半数を占める20〜40歳代の若者や子育て世代の減少がこのまま続くと、地域社会の維持そのものが困難な状況になっていくことが懸念されます。

このような状況を踏まえ、平成27年11月30日「八峰町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。同戦略は急激な人口減少を抑制し、将来にわたって活力ある町の創生を町民と行政が一体となって「オール八峰」で取り組むことを目的に策定されました。

また、町民に「八峰町に住んで良かった」「八峰町で家庭を持ち子どもを育てたい」と考えてもらえるよう基本目標を定め、具体的な取り組みを推進しています。

## まちづくりの基本目標

### 1 仕事づくりのための産業振興

- ・ 菌床しいたけ産業基盤強化事業
- ・ 生薬栽培推進事業
- ・ 特産品販路拡大事業

### 2 移住・定住対策

- ・ 八峰町空き家情報室
- ・ 定住促進用空き家活用住宅
- ・ 住まいづくり応援事業

### 3 少子化対策

- ・ 結婚支援体制強化事業
- ・ 子育て世帯負担軽減事業
- ・ ICT教育環境整備事業

### 4 人口減少社会への対応

- ・ 能代山本定住自立圏構築事業
- ・ 交通空白地・交通弱者対策事業
- ・ 元気な高齢者による地域づくり事業



# 1 仕事づくりのための産業振興

## 米依存からの脱却、農業の生産性向上と新たな可能性を探る

### 米依存農業からの脱却

本町の基幹産業である農業については、米価の下落や後継者不足などの問題もあり、近年は衰退の一途をたどっています。このような現状を踏まえ、今後は、付加価値の高い作物等の生産、あるいは6次産業化などを促進し、農業の生産性向上、輸出強化等を図ります。

平成29年度には、菌床しいたけホダ製造・栽培施設等整備を行いました。また、生薬栽培事業では、カミツレ・キキョウを主として、安定栽培に向けて取り組んでいます。

### 新たな仕事づくり

少子高齢化の急速な進行や経済のグローバル化などにより、産業構造や職業構造がめまぐるしく変化するなか、新たな分野への参入を目指す個人、企業等を支援していくことで、成長分野への新たなきっかけづくりを推進します。雇用創出活動支援、ものづくり支援、資格取得支援事業などを行っています。

### 地域ブランドの確立

「白神」のネームバリュー



や地域の特性を活かした付加価値の高い商品づくりや販路開拓に取り組むと共に、白神山地や日本海などの自然を堪能できる観光地づくりを進めていくため、観光振興に関わる団体等と協働して、自然環境を活かした体験メニューの開発やエコツーリズムなどを推進していきます。

はっほううましブランドの商品開発に取り組んだり、首都圏での特産品フェアを開催し町をPRしています。

### 人材の育成・確保

本町では、農業、漁業等の各産業分野において、担い手の減少や高齢化等が進むなか、新規就業者の確保・育成が急務となっています。新たな分野への挑戦を目指す起業家や新規就業者等を支援し、地元の産業を牽引する優れた人材を確保・育成することにより、事業者の活性化、生産性の向上、競争力の強化などを図ります。

#### 菌床しいたけ産業基盤強化事業

ホダ生産ライン改良、拡張により、ホダ生産量を従来の200万個から300万個に増産し、生産希望者に安定的に供給することで、「しいたけ産業」の基盤強化を促進すると共に、町内に新たな雇用の場を創出する。

#### 生薬栽培推進事業

農業経営基盤の強化や安定収入の確保、耕作放棄地対策の一つとして、生薬栽培の普及を推進する。

#### 特産品販路拡大事業

世界自然遺産白神山地のネームバリューを活かし「八峰白神商品」の開発等を行うと共に、首都圏等での販路拡大・開拓及び観光PRもあわせて展開することにより、町内事業所の生産性及び経営基盤の強化等を図る。



菌床しいたけホダ製造・栽培施設



キキョウの選別作業

## 2 移住・定住対策

# 移住・定住の斡旋 住みたい町、住みよい町を目指して

### 居住環境の充実

本町は6団地93戸の町営住宅を有しているものの、所得制限等により、共働きの若い世代が入居できないような状況にあるため、移住希望者や地元定着を望む若い世代が入居することができ、経済的負担の少ない住宅を整備し、若者及び子育て世帯の移住・定住を促進します。

定住促進用空き家改修事業では、町提案型と移住者提案型リフォームを行っており、これまで（平成27年～平成29年）、13件の空き家を改修し、移住・定住希望

者に貸し出しています。

### 情報発信の強化

ふるさと回帰支援センターや他市町村等との連携による移住促進イベント開催や町のホームページや各種サイトを利用した情報発信により、本町の魅力を町内外に積極的に発信していきます。

### 官民協同による移住者受け入れ体制の強化

国民のライフスタイルの変化やU・I・Jターン、二地域居住の普及等による都市部

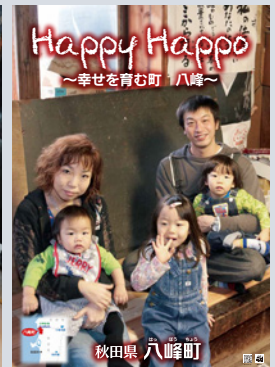
からの地方への移住・交流の気運を捉え、首都圏を含む地域外の人材を積極的に誘致し、地域力の維持強化を図るとともに、田舎暮らしをサポートする相談体制を整備し、町内への移住を促進します。

これまでは、移住相談会に参加、合計8回移住ツアーを行いました。また、Uターン、Iターン者に対して定住奨励金の交付を行っています。



### 定住促進用空き家改修事業

良質な空き家を体験型事業の実施や移住希望者等に貸し出すための住宅として整備し、移住・定住者の確保につなげる。「移住者提案型リフォーム」については、移住者によるデザイン検討から入居までをニコニコ動画等のメディアを通じて、全国に発信していく。



### 情報発信強化事業

ウェブサイトやSNSを有効活用するとともに、移住促進パンフレットやプロモーション映像等を製作することで、白神山地や日本海などの自然の豊かさや暮らしやすさなどを効果的に情報発信し、町内への移住定住を促進する。



### 3 少子化対策

# 子どもを育てやすい町、 地元へ根付いた教育から 世界へ羽ばたく。

結婚から子育てまで  
切れ目のない支援

教育環境の整備

結婚を希望するより多くの若者が望みを叶え、希望する時期に安心して出産・子育てができる社会づくりを目指して、結婚、妊娠・出産、子育て、仕事と育児の両立といったライフステージに応じた施策を、切れ目なくより強力に推進します。

結婚サポートの育成や、出会いの場創出イベント、子育て世帯負担軽減事業、子育て支援センター整備事業などを行っています。

質の高い教育環境が居住地選択に際しての大きな動機づけとなることから、各段階に応じた教育施策を充実させ、学力向上に向けた総合的な取り組みを推進します。

ICT教育環境整備事業、ふるさと教育推進事業、英語教育推進事業、外部学習支援員活用事業などを行っています。ICT教育では全国的にも先進的です。

#### ◇子育て関連事業

主管課	事業名	乳幼児						小学校						中学校			高等学校		
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
福祉保健	不妊治療費助成事業	上限：一般不妊治療 100,000円/年度、特定不妊治療 150,000円/回、不育症治療 100,000円/年度																	
◇	妊婦健康診査事業	14回：妊婦初期～23週（4週間に1回）、24週～35週（2週間に1回）、36週以上（1週間に1回）、母乳育児相談（3回）、産後1か月検診																	
◇	誕生祝金支給事業	第1子・第2子 50,000円、第3子以降 100,000円																	
◇	乳幼児健康診査事業	3～4か月、6～7か月、9～10か月、1歳6か月児、2歳児（歯科）、3歳児、5歳児																	
◇	ベビータッチングケア講習会	年3回（7月、11月、3月）実施																	
◇	定期予防接種給付事業	定期予防接種費用の窓口負担を無料化（ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、BCG、麻しん・風しん混合、日本脳炎、水痘、B型肝炎）																	
◇	任意予防接種費用助成事業	任意予防接種費用の窓口負担を軽減（おたふくかぜ、インフルエンザ、B型肝炎、ロタウイルス）																	
◇	医療給付事業（福祉医療）	医療費の窓口負担を無料化																	
◇	児童手当支給事業	3歳未満一律 15,000円、3歳以上小学校就学前 10,000円（第3子以降は15,000円）、中学生一律 10,000円																	
◇	育児助成金支給事業	小・中学校（特殊学校含む。）入学時 30,000円																	
学校教育	子ども子育てマイブック事業	絵本などの図書（年齢に応じて選択制）を毎年贈呈																	
◇	放課後児童健全育成（学童保育）事業																		
◇	放課後子ども教室																		
幼児保育	保育料助成事業	3歳未満児 半額免除、3歳以上児 全額免除																	
総務	チャイルドシート購入費助成事業	1台あたり 10,000円限度																	
給食センター	給食費助成事業	小・中学校給食費 半額免除																	

（平成30年度現在）





## ICT教育環境整備事業



本町では、2011年度にNTTと連携しICT活用を開始しました。現在、子育て支援センター、町内3子ども園、2小学校、1中学校の全教室に88インチの大型電子黒板を設置し、小・中学校では全児童・生徒が使える数のタブレット端末も備えています。

2014年度以降は、文部科学省による実証事業、支援事業の対象になっており、効果的手法を模索しています。

授業での活用方法として、電子黒板でのデジタル教科書の動画や音声資料のほか、児童・生徒がタブレットに書き込んだ意見や回答などを表示します。

また、2018日本ICT教育アワードでは審査委員長賞を受賞しています。

## 子育て世帯負担軽減事業



本町では、出産祝い金の支給や、医療費・保育料の軽減化、小中学校入学祝い金など、結婚から妊娠、出産、子ども園、小中学校と切れ目のない支援を行っていることで、安心して子供を産み育てられる環境を整備しています。(34ページ表参照)

小中学校の給食は町営の給食センターで作っており、地産地消を採り入れながら、安全で、おいしい給食づくりを行っています。

将来の町を担う子どもたちは町の宝です。



## 4 人口減少社会への対応

# 年を重ねても住みやすい町へ。 町で支える高齢者の暮らし。

### 圏域内で新たな 連携体制の構築

今後の人口減少、少子高齢化の進行に対応し、持続可能な圏域づくりを推進するため、能代市（中心市）と本町、三種町、藤里町の3町が相互に役割分担し、連携・協力することにより圏域全体として必要な生活機能を確保します。

平成27年12月25日付けで、1市3町で定住自立圏形成協定を締結しました。平成28年3月25日に、圏域の将来像や協定に基づき推進する取り組みなどを記載

した「能代山本定住自立圏共生ビジョン」を策定しています。

### その他人口減少 社会が引き起こす 諸問題への対応

交通空白地・交通弱者対策事業、まちづくり活動支援事業、元気な高齢者による地域づくり事業などを行っています。

公共交通空白地有償運送事業では、公共交通（バス・電車等）が提供されていない、大信田・埴・仲村・横内地区の住民の方などを対

象に、社協で所有する自家用車を使用し、有償輸送を行っています。今後は、発着地点の追加などについて協議を重ね、利用しやすい事業にしていきます。

元気な高齢者による地域づくり事業として、軽度生活援助事業があり、家周りの手入れや、家屋内の整理整頓、除排雪などをシルバー人材センターに委託しています。また、老人クラブへの補助金の支出やことぶき大学の運営などを行っています。ことぶき大学には、現在390名（平成31年2月1日現在）の学生がおり、町内一のマンモス校です。



# 町民の笑顔、安全安心のためにーその他ー

## 八峰町住まいづくり応援事業



八峰町では、従来のリフォーム支援事業を刷新して、平成30年度より、新たな住宅施策を開始しました。それが、「八峰町住まいづくり応援事業」です。

一番の特徴は、従来のリフォーム支援に加えて、子育て世帯に限定した住宅の新築や、空き家購入にも対象を拡大したことです。特に、子育て世帯向け新築支援事業では、限度額を200万円としており、重点的に支援することで、子育てしやすい環境づくりが進み、子育て世帯の町外流出に歯止めをかけることが期待されます。

住まいは生活の基本であり、住み慣れた地域で長く住み続けられることは、住民の願いでもあります。八峰町は、安全で快適な住まいづくりのため、これからも、住民のニーズを的確にとらえた住宅施策を展開していきます。

## 八峰町地域防災計画



八峰町では、町民の安心安全のため、八峰町地域防災計画を策定しています。八峰町は、海に面した町であるため津波ハザードマップを作成しているほか、総合防災訓練を行っています。総合防災訓練は、地震や津波を想定し、自治会ごとに行われます。多くの住民が朝早くから参加し、有事に備えます。訓練終了後には、消火器を使った消火訓練なども行われます。

消防団の活動も精力的で、いざというときに備え各分団の団員は訓練を行い、毎年開かれる操法大会では、日頃の成果を披露します。いつ起こるか分からない災害に対応できるよう、町では住民の安心安全のため対策を考えています。

# 年表で見る 八峰町



八森ブルーウェーブ(H25)



新庁舎(H21)



八峰町誕生(H18)

平成23年 〔2011〕	平成22年 〔2010〕	平成21年 〔2009〕	平成20年 〔2008〕	平成19年 〔2007〕	平成18年 〔2006〕
3月11日、東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)が発生。町では被災地へ救援物資を搬送したほか、3月31日から9月2日までの期間に延べ22人の職員を派遣。	夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会を8月12日に開催。町内外から約1,800人が参加。	上下水道料金を統一。 4月13日告示、同18日投票の町長選挙で加藤和夫氏が再選。 八峰町新庁舎が完成。9月13日に落成記念式典と一般公開を行い、同24日から通常業務がスタート。 八峰町名誉町民の日沼頼夫博士(茂浦出身)が文化勲章を受章。本県出身者では54年ぶり2人目の快挙。	岩子小学校が閉校し、水沢小学校へ統合。 中浜地区の旧発盛鉱山跡地に八峰町中央公園が完成。	あきた白神体験センターがオープン。 秋田わか杉国体の大会旗・炬火リレーが町内を駆け抜ける。町ではデモ・スポ行事としてブナの森公園でトレッキングを開催。 八峰町町民歌が完成。	3月27日、八峰町が誕生。平成17年2月に合併協議会が発足してから1年と1か月。八峰町は「平成の大合併」として秋田県内最後の合併となり、「白神の自然と人」と創るやすらぎのまちを目指し、歴史の第一歩を踏み出した。 4月8日告示、同23日投票の町長選挙で初代八峰町長に加藤和夫氏が当選。 10月3日未明、峰浜庁舎で火災が発生。庁舎が全焼し、一人の尊い命が犠牲に。



町長初登庁 (H30)



10周年記念式典 (H28)

## 八峰町が誕生するまで

漁業が有名な八森町、農林業が盛んな峰浜村、2つの町村が合併した町、それが八峰町です。平成12年4月の地方分権一括法施行後、広域合併実現に向け協議を進めてきた「能代山本市町村合併協議会」は、市名の問題から端を発し、平成17年1月28日に解散しました。こうしたなか、これまで人的交流や長いつながりのある八森町と峰浜村は、それぞれにある資源を活用することで、個性ある「小さくても光り輝くまちづくり」を進めることが可能と判断しました。そして、同年同月31日、両町村議会の議決を得て、同年2月1日、八森町峰浜村合併協議会を立ち上げました。その後、協議は順調に推移し、平成18年3月27日「八峰町」が誕生しました。

平成30年 〔2018〕	平成29年 〔2017〕	平成28年 〔2016〕	平成27年 〔2015〕	平成26年 〔2014〕	平成25年 〔2013〕	平成24年 〔2012〕
4月10日告示、同15日の投票の町長選挙で森田新一郎氏が無投票で初当選。	1月4日、子育て支援センター「あいあい」がオープン。 9月、秋田県内でねりんピック秋田2017が開催、八峰町では軟式野球交流大会を開催。	合併10周年、3月27日合併記念式典を挙行。 埴川・水沢の2小学校が統合し、峰浜小学校として新たにスタート。 八森・峰浜の2中学校が統合し、八峰中学校として新たにスタート。	2月4日、八峰町名誉町民の日沼頼夫博士が逝去。 7月24日、25日の大雨で河川等が氾濫、一部住民は避難し、道路が冠水するなどの被害。	4月15日告示、同20日の投票の町長選挙で加藤和夫氏が無投票で再選。 八森地区の3保育園を統合した新八森子ども園が完成、11月4日に78名の園児で開園。 チャレンジデーに八峰町が初参加、町内の方がさわやかな汗を流す。	八森ブルーウェーブが第33回全日本学童軟式野球大会に出場。 八峰町から大会史上初めて全国大会に出場し、憧れの地「明治神宮球場」でプレー、町民に夢と感動を与えてくれた。 町内の小中学校全学年の教室に電子黒板を設置。	ボンポコ山公園リニューアルオープン。 9月24日、八峰白神ジオパークが日本ジオパークに認定される。「日本一小さいジオパーク」が誕生。

# ひと

# 数字で見る

# 八峰町

町の統計データを紹介します。

□ 人口

6,427人

□ 男

3,032人

□ 女

3,395人

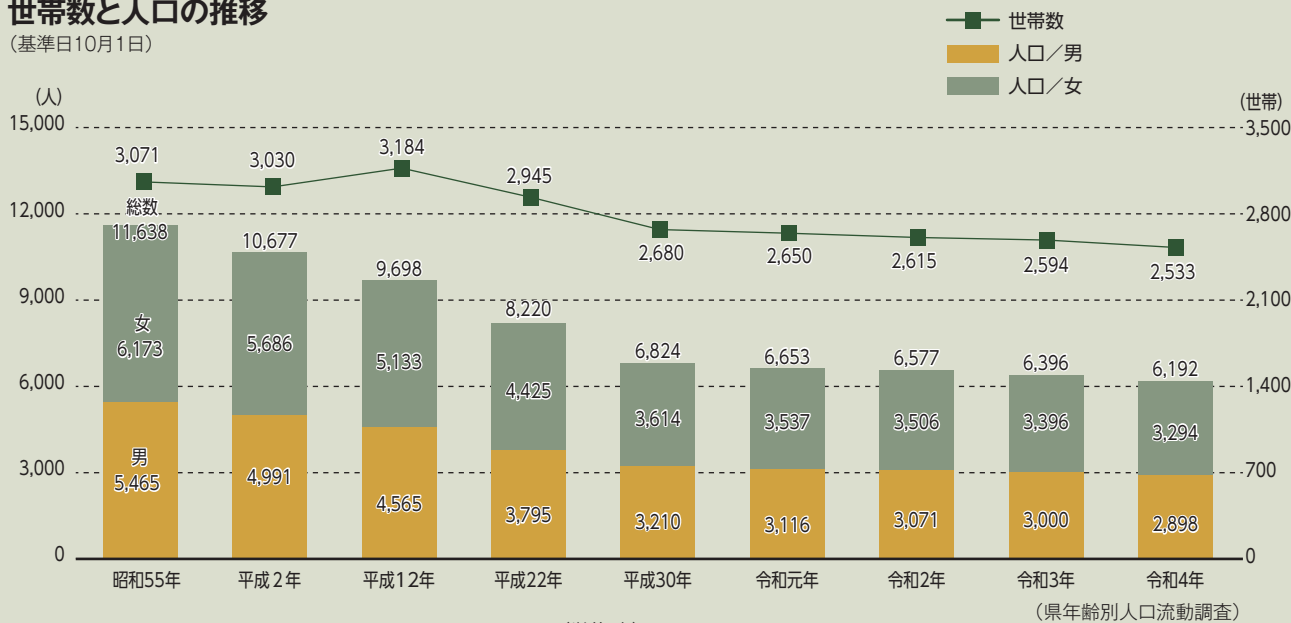
□ 65歳以上

48.3%

令和5年3月31日 資料:住民基本台帳

## 世帯数と人口の推移

(基準日10月1日)



(単位:人)

(県年齢別人口流動調査)

年次	人口増減	自然動態			社会動態		
		出生	死亡	増減	転入	転出	増減
平成20年	-170	49	137	-88	171	253	-82
平成21年	-141	32	131	-99	168	210	-42
平成22年	-76	45	134	-89	190	177	13
平成23年	-161	29	137	-108	172	225	-53
平成24年	-178	31	137	-106	125	197	-72
平成25年	-152	26	135	-109	136	179	-43
平成26年	-219	23	142	-119	108	208	-100
平成27年	-219	19	143	-124	118	213	-95

年次	人口増減	自然動態			社会動態		
		出生	死亡	増減	転入	転出	増減
平成28年	-167	21	138	-117	135	185	-50
平成29年	-147	24	154	-130	133	150	-17
平成30年	-171	22	137	-115	111	167	-56
令和元年度	-171	26	150	-124	91	138	-47
令和2年度	-150	23	138	-115	125	160	-35
令和3年度	-181	13	139	-126	81	136	-55
令和4年度	-204	13	165	-152	103	155	-52

(県年齢別人口流動調査)

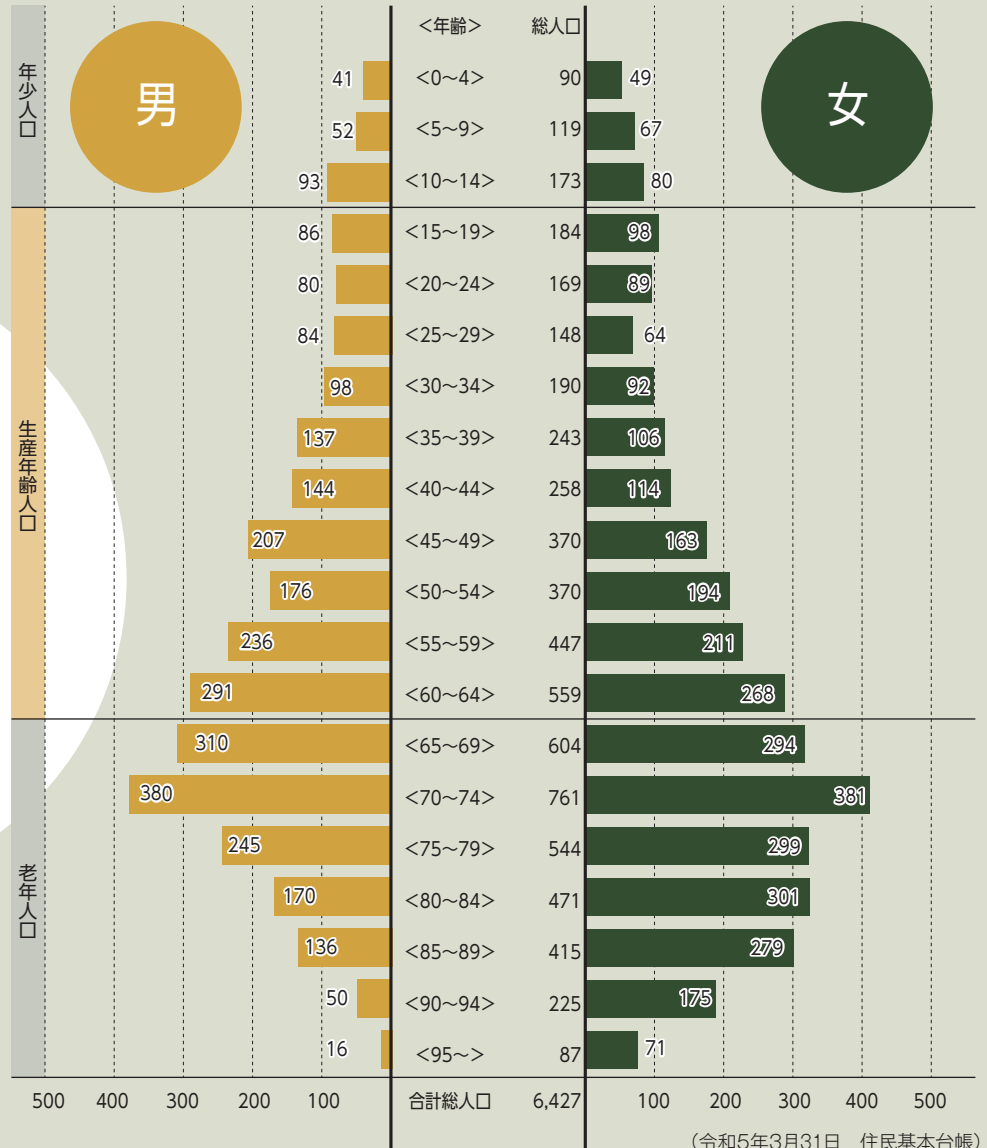
年齢別人口ピラミッド

(単位:人)

人口・世帯の推移

八峰町の人口は、自然動態、社会動態ともに年々減少しており、昭和45年と令和4年を比較すると、6,656人(50.9%)減少しています。一方で、世帯数は減少率が緩やかになっており、夫婦のみ、あるいは一人暮らし世帯が増加していることがうかがえます。

出生数の減少が著しく、65歳以上高齢者の割合が48.3%と、典型的な少子高齢化が進展しています。このため、生産年齢人口も減少傾向が続いており、産業の担い手不足が深刻化しています。



# 自然

総面積

(単位:ha)

地目	田	畑	宅地	山林	原野	その他	合計
面積	1,832	396	298	19,084	763	1,041	23,414

令和4年現在 土地に関する概要調書ほか

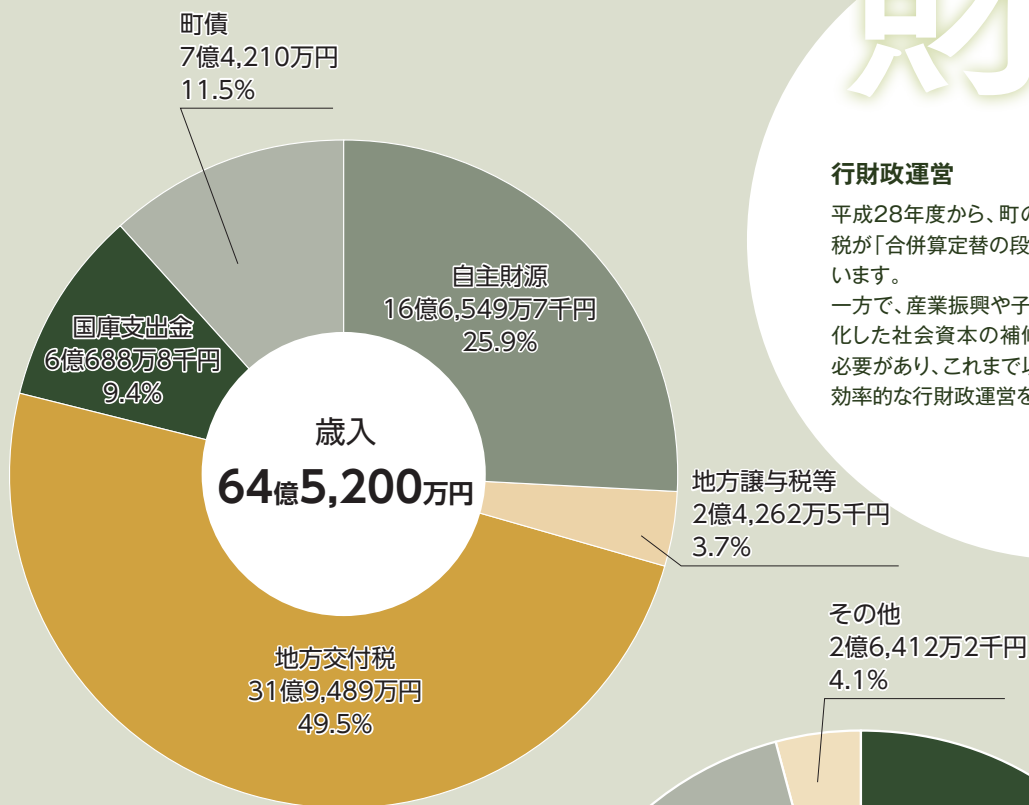
気象

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
気温(℃)	最高	8.5	7.9	19.1	23.4	25.6	26.8	30.7	29.4	32.4	25.1	19.3	11.4
	最低	-6.5	-4.2	-1.0	0.9	4.7	9.2	19.4	16.0	10.8	5.9	0.5	-3.6
	平均	0.4	0.7	4.8	10.2	15.1	18.0	24.1	23.7	21.4	14.7	10.7	3.1
平均風速(m/s)	7.3	7.4	4.4	3.2	2.9	2.7	2.0	2.6	2.3	3.4	4.1	7.1	
総降水量(mm)	184.5	78.5	107.5	45.5	97.5	141.0	78.0	653.0	75.0	168.0	171.5	229.0	

2022年 気象庁

# 財政

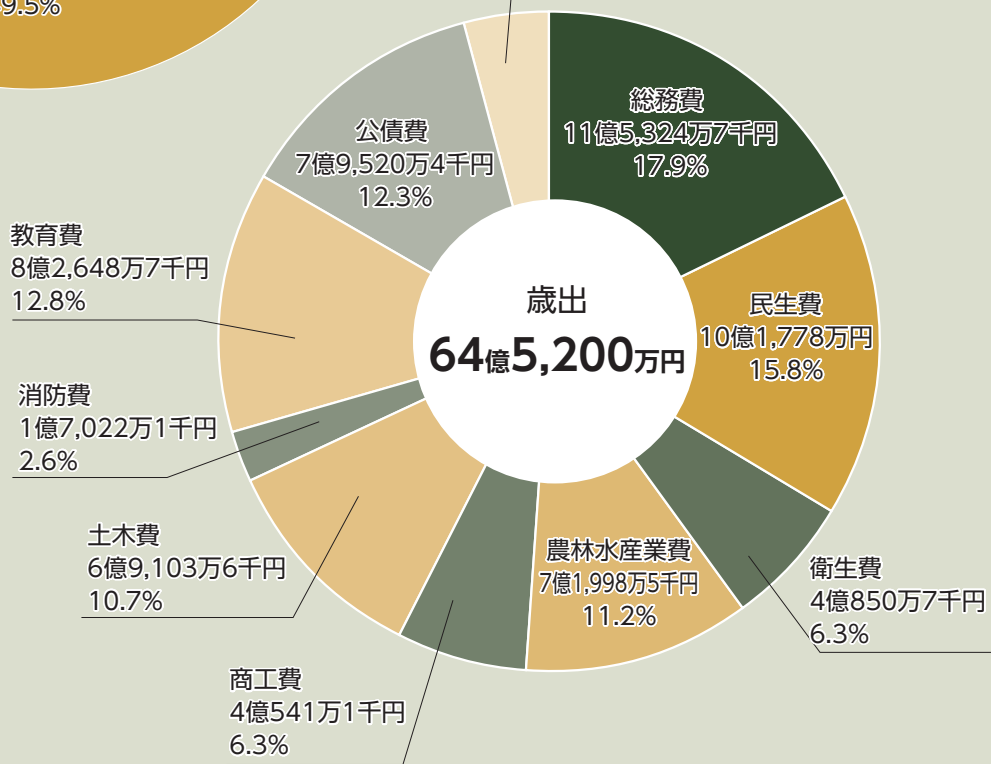
## 令和5年度一般会計予算



### 行財政運営

平成28年度から、町の歳入の大半を占める地方交付税が「合併算定替の段階的縮減」により、減少し始めています。

一方で、産業振興や子育て世帯への支援のほか、老朽化した社会資本の補修や解体を計画的に進めていく必要があります。これまで以上に、事業の取捨選択を進め、効率的な行財政運営を目指していく必要があります。



## 令和5年度特別会計予算

国民健康保険	8億7,457万2千円
介護保険事業	12億8,186万2千円
後期高齢者医療	1億681万6千円
沢目財産区	2,384万7千円
町営診療所	8,632万3千円
合併処理浄化槽事業	252万4千円

## 令和5年度公営企業会計予算

簡易水道事業	5億6,685万9千円
下水道事業	7億2,158万6千円



# 福祉

## 福祉環境

八峰町国民健康保険は、一人当たり医療費が増加を続けています。  
また、介護保険は、26年度の施設入所者の急増に伴い、保険料が34%の大幅な引き上げとなっています。  
今後は、疾病の重症化予防や、介護予防に力を入れていく必要があります。

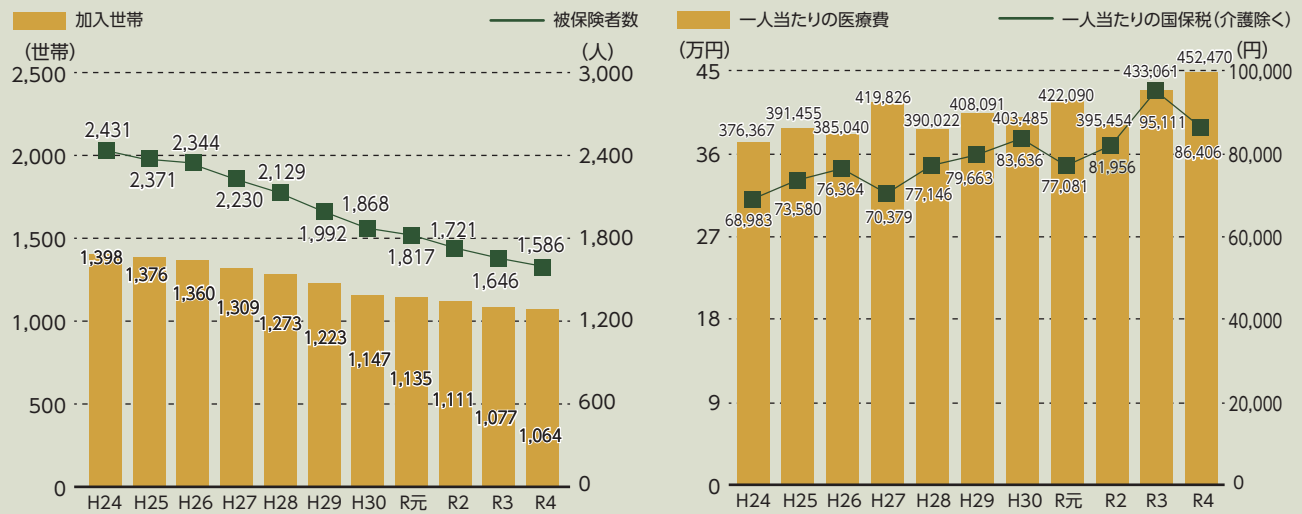
## 国民健康保険の加入状況

(単位:世帯、人、円)

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
加入世帯	1,398	1,376	1,360	1,309	1,273	1,223	1,147	1,135	1,111	1,077	1,064
被保険者数	2,431	2,371	2,344	2,230	2,129	1,992	1,868	1,817	1,721	1,646	1,586
一人当たりの医療費	376,367	391,455	385,040	419,826	390,022	408,091	403,485	422,090	395,454	433,061	452,470
一人当たりの国保税(介護除く)	68,983	73,580	76,364	70,379	77,146	79,663	83,636	77,081	81,956	95,111	86,406

決算調整額(医+支)÷被保数

「国民健康保険事業状況」より

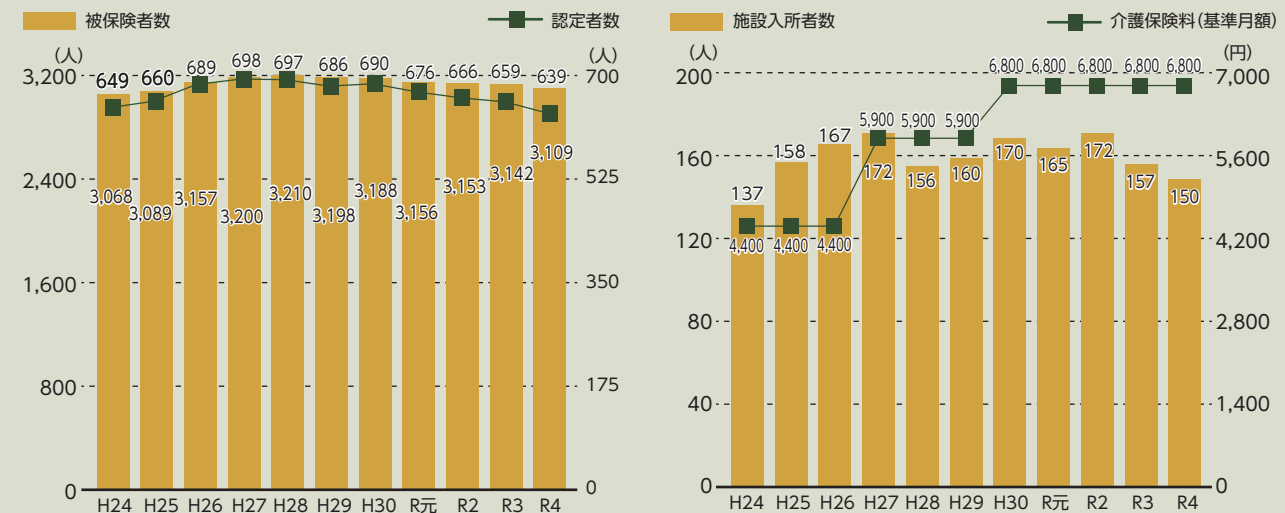


## 介護保険事業の状況

(単位:人、円)

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
被保険者数	3,068	3,089	3,157	3,200	3,210	3,198	3,188	3,156	3,153	3,142	3,109
認定者数	649	660	689	698	697	686	690	676	666	659	639
施設入所者数	137	158	167	172	156	160	170	165	172	157	150
介護保険料(基準月額)	4,400	4,400	4,400	5,900	5,900	5,900	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800

施設入用者数の内訳 ◎特別養護老人ホーム ◎介護老人保健施設 ◎介護療養型医療施設 を含む



# 教育文化

## 教育環境

児童・生徒数、園児数ともに少子化の影響を受けて、減少を続けています。

町では、小中学校とこども園の統合を段階的に進めており、町村合併前に6校あった小学校は2校に、2校あった中学校は1校になりました。

今後も、少子化の流れは続くと予想されるため、教育の質を確保しながら効率的な学校運営が求められます。

## 小中学校の概要

(単位:学級、人)

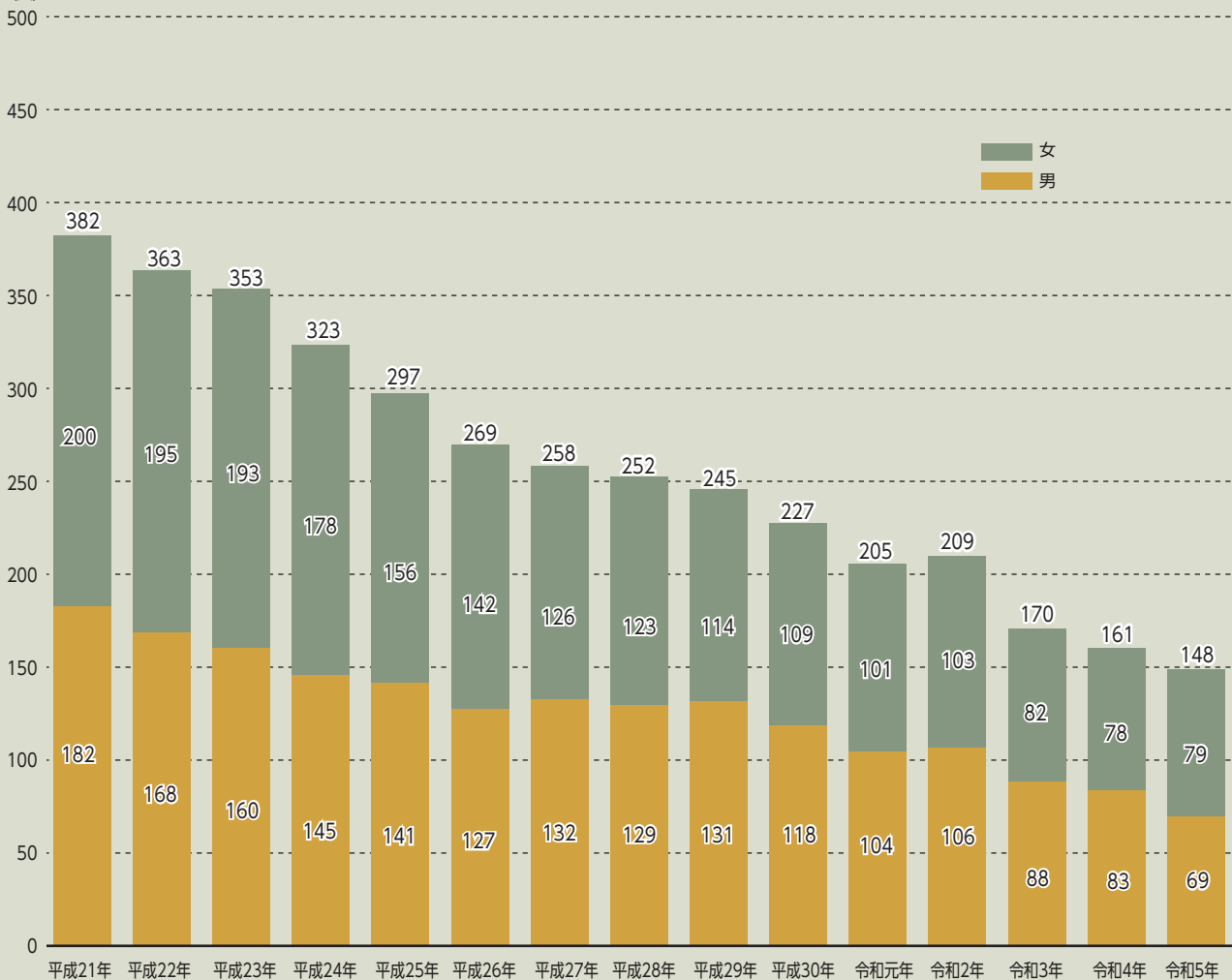
学 校 名	学級数	児童生徒数			教員数		
		計	男	女	計	男	女
八森小学校	9	65	27	38	13	4	9
峰浜小学校	6	83	42	41	11	3	8
計	15	148	69	79	24	7	17
八峰中学校	5	120	65	55	16	11	5
計	5	120	65	55	16	11	5

学校基本調査 令和5年5月1日現在

## 児童・生徒数の推移

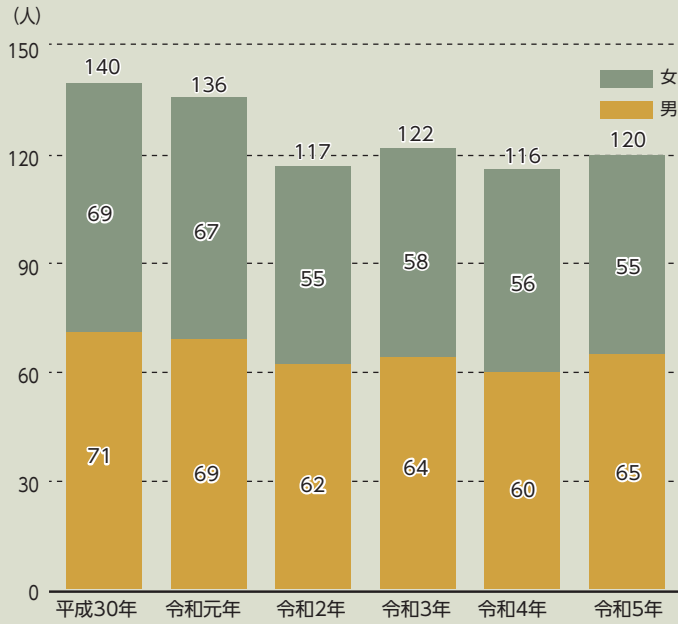
### ○小学校の児童数

(人)



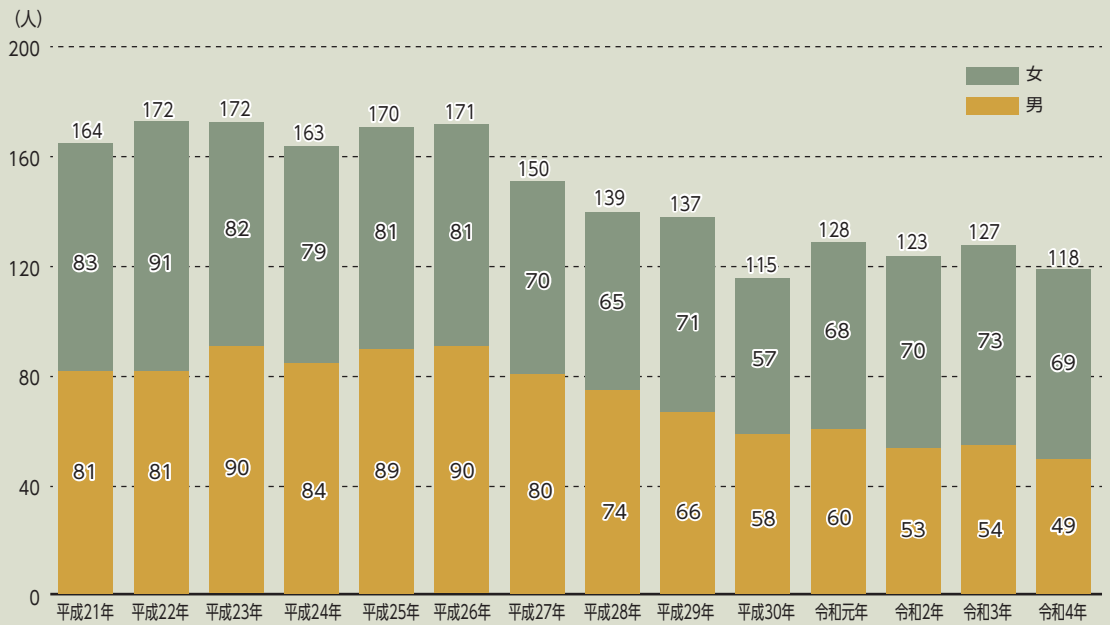
学校基本調査

○中学校の生徒数



# 子ども園

○園児数の推移



園児数

	男	女	総数
八森子ども園	23	31	54
峰浜ポンポコ子ども園	26	38	64
合計	49	69	118

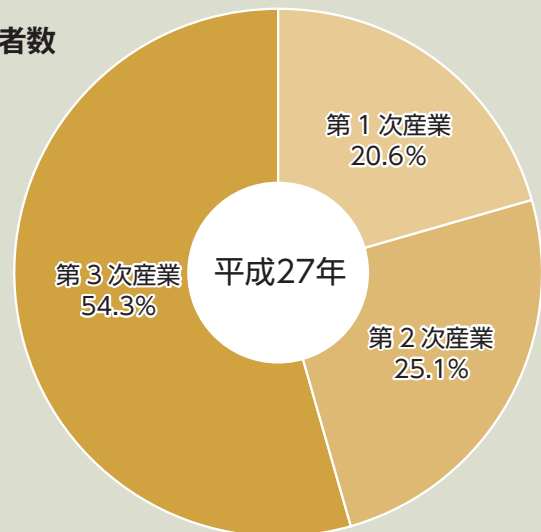
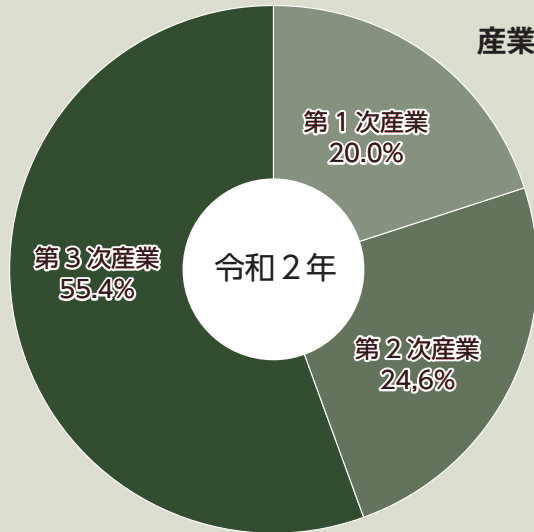
令和5年3月31日現在

# 産業

## 産業環境

産業別就業者数をみると、農家人口が年々減少しているにもかかわらず、割合では、ほとんど変化がないことから、第1次産業が「町の基幹産業」として重要な役割を担っていることがわかります。一方、商工業では、事業所数の減少が続いているものの、近年、販売額(出荷額)は維持されており、商機を活かした経営努力がうかがえます。

### 産業別就業者数



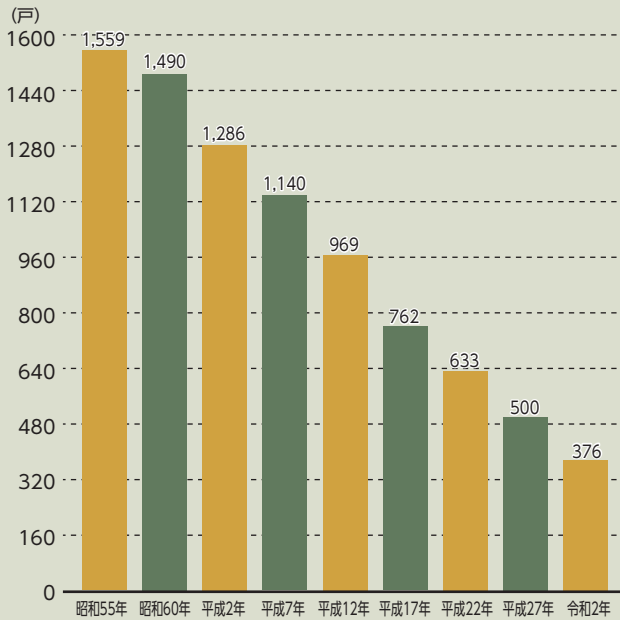
産業の種類		令和2年		
		総数	男	女
第1次産業	農業	552	313	239
	林業	13	10	3
	漁業	78	69	9
	小計	643	392	251
	割合	20.0%	22.5%	17.0%
第2次産業	鉱業	1	1	0
	建設業	371	345	26
	製造業	416	218	198
	小計	788	564	224
	割合	24.6%	32.5%	15.3%
第3次産業	電気・ガス水道業	7	4	3
	運輸/情報通信業	114	93	21
	卸売・小売業	374	165	209
	金融・保険・不動産業	51	21	30
	飲食店・宿泊業	125	46	79
	医療・福祉	514	105	409
	教育・学習支援業	103	39	64
	サービス業	207	103	104
	公務(分類不能含む)	282	205	77
	小計	1,777	781	996
	割合	55.4%	45.0%	67.7%
合計	3,208	1,737	1,471	

産業の種類		平成27年		
		総数	男	女
第1次産業	農業	610	336	274
	林業	18	16	2
	漁業	121	100	21
	小計	749	452	297
	割合	20.6%	22.6%	18.0%
第2次産業	鉱業	4	4	0
	建設業	431	389	42
	製造業	479	242	237
	小計	914	635	279
	割合	25.1%	31.8%	17.0%
第3次産業	電気・ガス水道業	7	7	0
	運輸/情報通信業	123	106	17
	卸売・小売業	410	195	215
	金融・保険・不動産業	60	27	33
	飲食店・宿泊業	136	40	96
	医療・福祉	518	102	416
	教育・学習支援業	94	31	63
	サービス業	401	238	163
	公務(分類不能含む)	231	165	66
	小計	1,980	911	1,069
	割合	54.3%	45.6%	65.0%
合計	3,643	1,998	1,645	

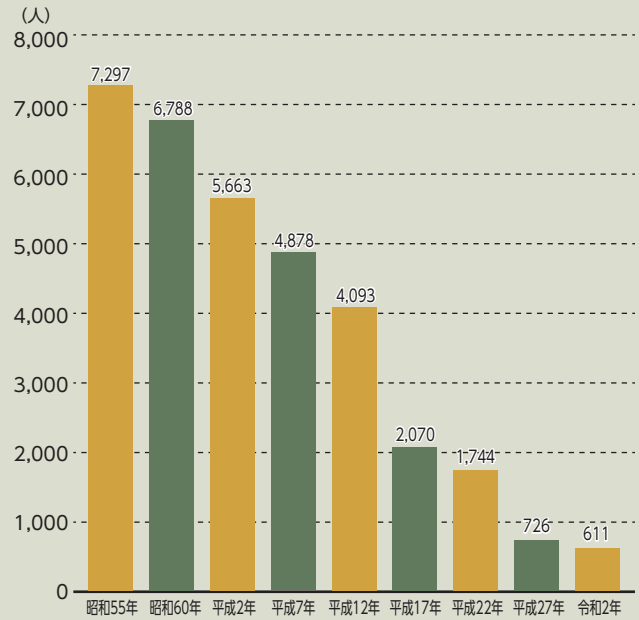
(国勢調査)

## 農家戸数と農家人口

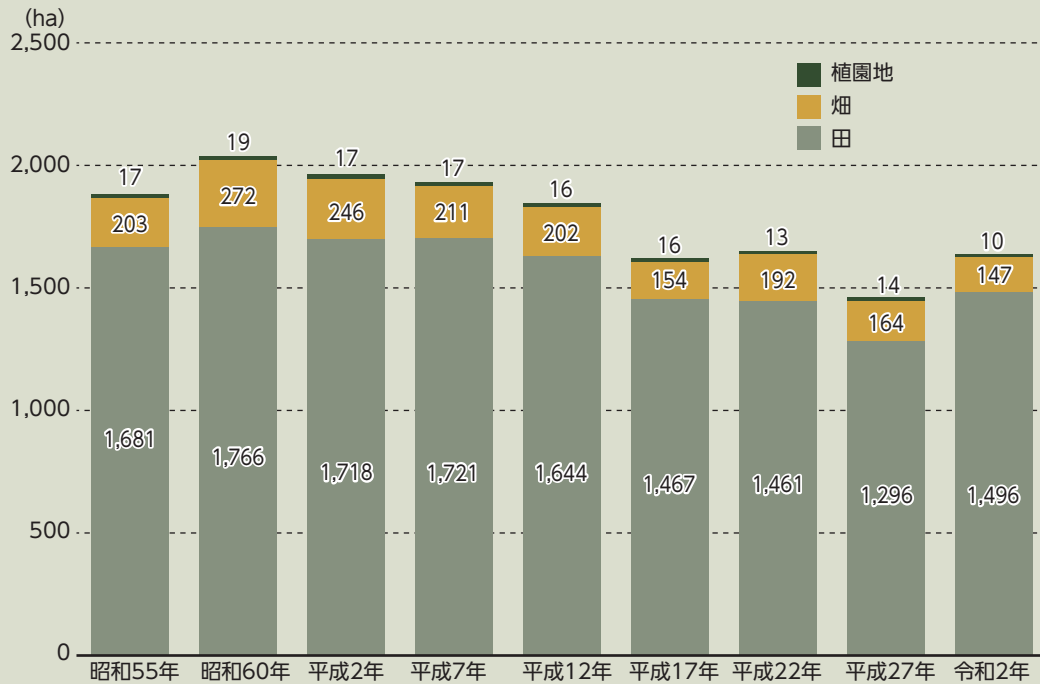
### 農家戸数



### 農家人口



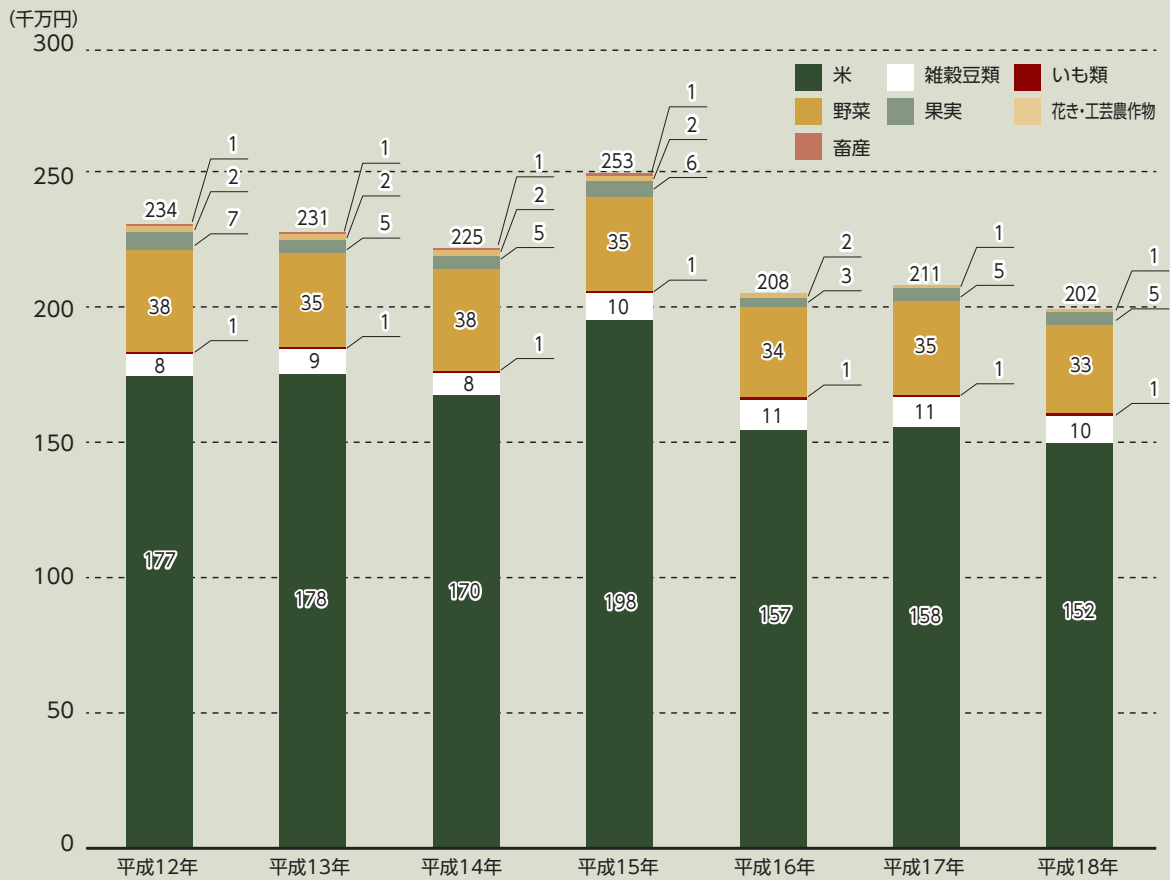
## 経営耕地面積



	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
1農家当り(ha)	1.22	1.38	1.54	1.71	1.92	2.15	2.66	2.95	4.28

(農林業センサス)

## 生産農業所得



## 商業の概要

	商店数	従業者数	年間商品販売額(万円)
平成3年	158	633	608,620
平成6年	144	463	623,233
平成9年	130	475	686,410
平成11年	134	408	672,180
平成14年	111	401	334,124
平成16年	101	352	300,659
平成19年	91	315	327,681
平成26年	61	306	382,098
令和3年	66	233	292,000

(平成19年まで商業統計調査  
令和3年 経済センサス)

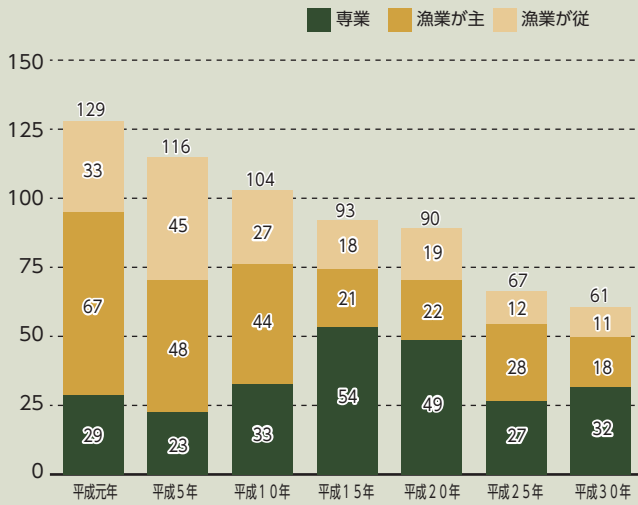
## 工業の概要

	事業所数	従業者数	製造品出荷額(万円)
平成16年	22	525	370,995
平成17年	24	532	372,423
平成18年	24	527	350,672
平成19年	24	537	335,829
平成20年	23	547	359,164
平成21年	23	434	318,407
平成22年	20	384	214,780
平成23年	18	401	245,727
平成24年	21	486	310,512
平成25年	18	397	307,179
平成26年	17	342	307,811
平成27年	18	406	350,207
平成28年	18	381	289,184
平成29年	15	355	384,202
平成30年	16	352	374,427
令和元年	16	367	355,243
令和2年	11	289	349,485

(工業統計調査)

## 漁業経営体数

(専業兼業別:個人経営体)



	総数	専業	兼業	
			漁業が主	漁業が従
平成元年	129	29	67	33
平成5年	116	23	48	45
平成10年	104	33	44	27
平成15年	93	54	21	18
平成20年	90	49	22	19
平成25年	67	27	28	12
平成30年	61	32	18	11

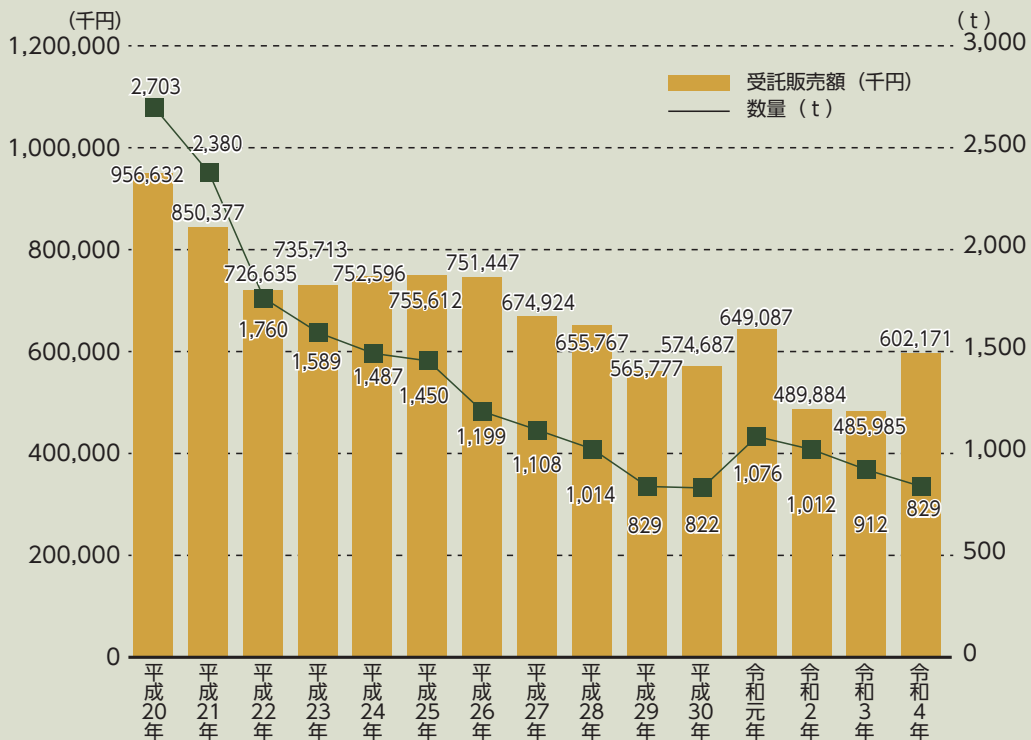
(漁業センサス)

## 漁獲高

(八森・岩館・能代)

年度	数量(t)	受託販売額(千円)
平成20年度	2,703	956,632
平成21年度	2,380	850,377
平成22年度	1,760	726,635
平成23年度	1,589	735,713
平成24年度	1,487	752,596
平成25年度	1,450	755,612
平成26年度	1,199	751,447
平成27年度	1,108	674,924
平成28年度	1,014	655,767
平成29年度	829	565,777
平成30年度	822	574,687
令和元年度	1,076	649,087
令和2年度	1,012	489,884
令和3年度	912	485,985
令和4年度	829	602,171

(秋田県漁協北部統括支所資料)



# 土木・建設

## 道路状況

	総延長(km)	舗装率(%)
町道	165.2	92.2
県道	19.7	100.0
国道	22.9	100.0

令和4年度末現在

## 町営住宅・地域活性化住宅の状況

	戸数	構造
かもめ団地	20	木造平屋建、木造2階建
観海団地	7	木造平屋建
夕凧団地	13	木造平屋建
夕凧第2団地	35	木造2階建
塙川団地	13	木造平屋建
松波団地	5	木造平屋建
合計	93	

令和4年度末現在

# 消防・運輸・生活

## 消防組織・施設の状況

分団数	団員数	小型動力ポンプ	自動車ポンプ	消火栓	貯水槽
16	250	23	2	295	110

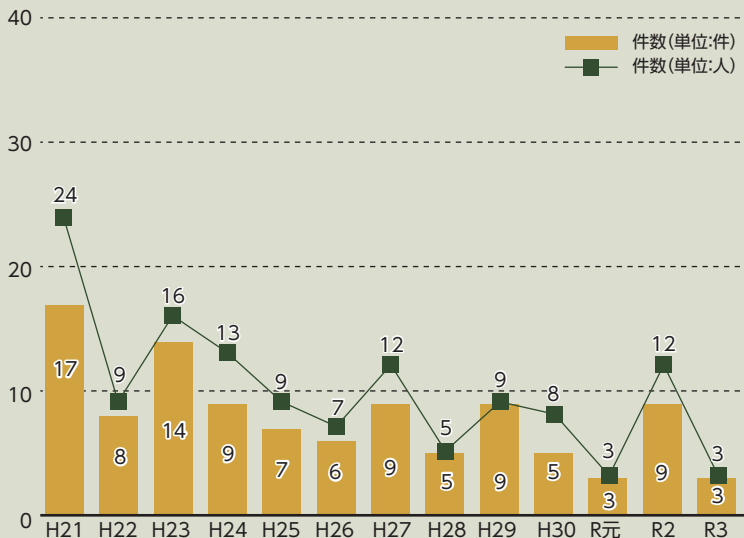
令和4年度末

## 火災の発生状況

平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
3	2	2	5	2	3	2	5	2	1

消防防災年報

## 交通事故の発生状況



## 車の保有台数

貨物自動車	普通車123台、小型車182台、軽自動車1392台、被けん引車9台
乗合用	普通車1台、小型車13台
乗用自動車	普通車971台、小型車1199台、軽自動車1738台
特殊用途用自動車	特殊車102台、大型特殊車83台、軽自動車22台
二輪車	小型二輪車70台

(東北運輸局秋田運輸支局、秋田県の市町村別自動車保有数)

## ゴミの処理状況

(家庭系)

(単位:トン)

平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
1,644	1,615	1,623	1,559	1,545	1,502

(町資料)

## 水道の普及率

(単位:人、%)

給水区域内人口	6,067
現在給水人口	6,044
普及率	99.6%

令和5年3月31日末現在(町資料)

## 下水道整備状況

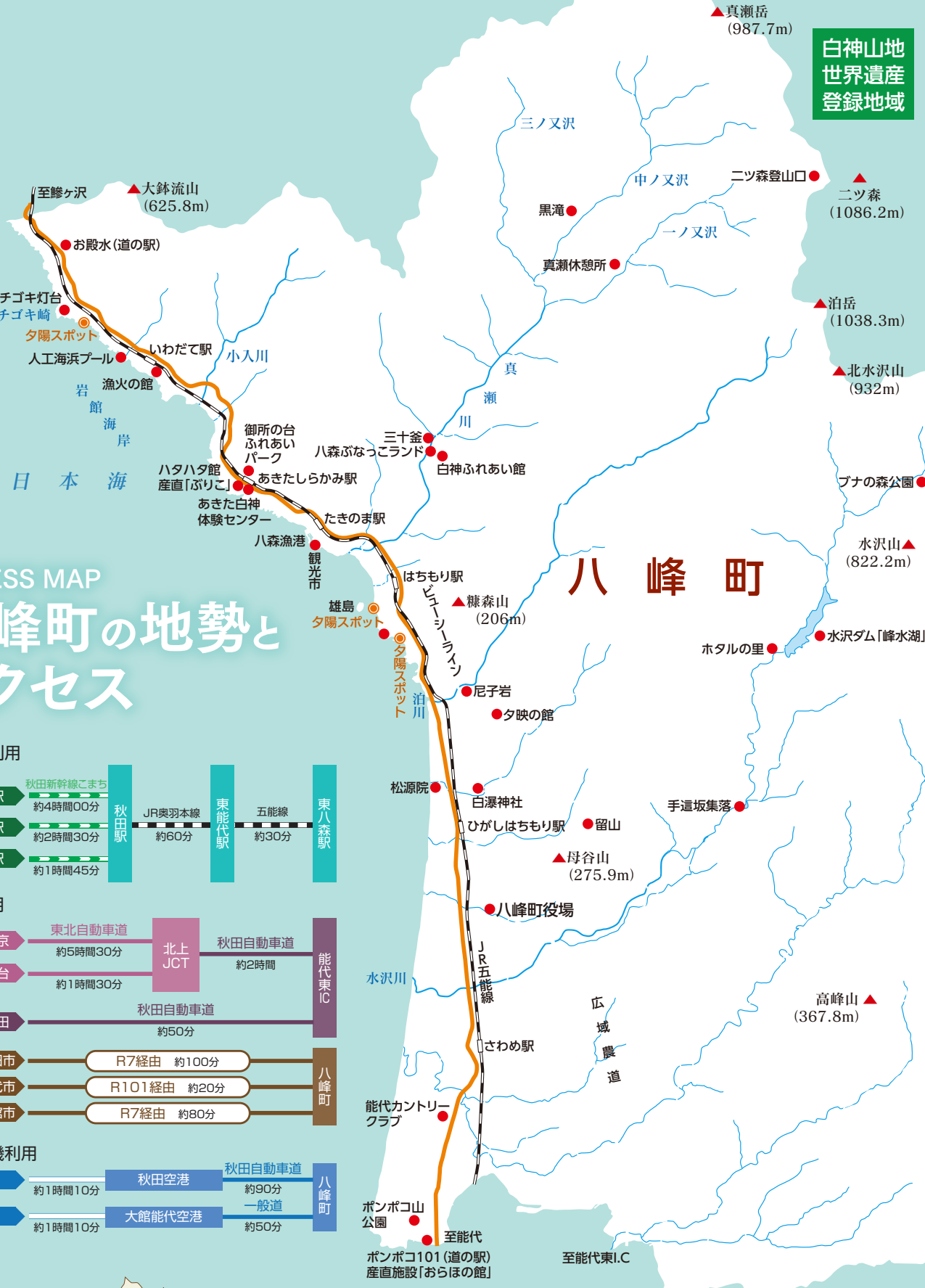
(単位:人、%)

整備区域内人口	6,159
処理水人口	6,083
普及率	98.76%

令和5年3月31日末現在(町資料)



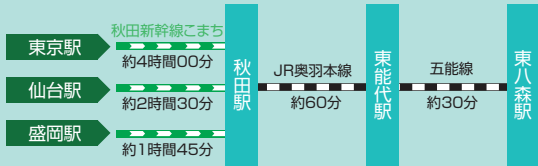
白神山地  
世界遺産  
登録地域



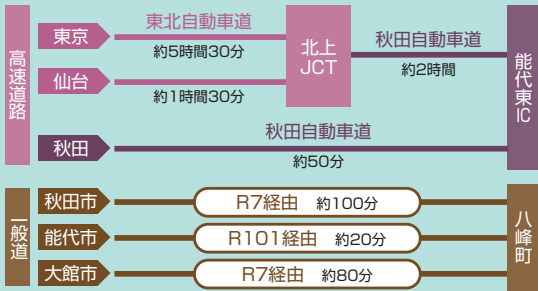
ACCESS MAP

# 八峰町の地勢とアクセス

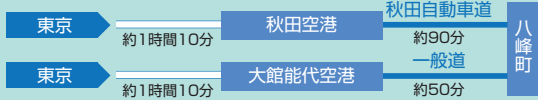
■鉄道利用



■車利用



■飛行機利用



八森町と峰浜村が合併して誕生した八峰町は、秋田県北西部に位置し、東は県内唯一、世界自然遺産「白神山地」の登録地を有する藤里町、南は能代市、西は日本海、北は青森県に接しています。東西が約19km、南北が約24kmで、面積は234.14km<sup>2</sup>になります。面積の80%近くが森林で占められています。農地は10%程度で、その多くが峰浜地区にあります。

町の広大な森林は白神山地の一部で、秋田白神県立自然公園に指定されているエリアもあります。また、起伏に富んだ八森地区の海岸も八森岩館県立自然公園に指定されています。このように2つの県立自然公園を有する自然豊かなところが八峰町の特徴ともいえます。

交通は、JR五能線と国道101号が日本海沿いに並行し、南北を縦断しています。ともに近隣の市町村を結ぶ重要な路線となっております。

気候は、四季の移り変わりが明瞭で、年間の平均気温は10℃前後です。冬は、低温で日本海側特有の北西の強い季節風が吹き、積雪は平野部で10～50cm、山間部では100cm以上になります。

LIVE  
LIFE  
LAUGH

白神の自然と海に生きる、みんながわらって暮らせる町、八峰町。

## 八峰町 町勢要覧2019

2019年3月

編集・発行

〒018-2502

秋田県山本郡八峰町峰浜目名瀧字目長田118

TEL 0185-76-2111(代表)

FAX 0185-76-2113

[www.town.happou.akita.jp](http://www.town.happou.akita.jp)



この製品は、環境推進  
工場で製造しています。



古紙配合率80%以上の  
紙を使用しています。